

官報

號外

明治二十九年三月一日

日曜日 內閣官報局

○第九回 衆議院議事速記録第二十八號

明治二十九年二月二十九日(土曜日)午後一時二十分開議

議事日程 第二十八號 明治二十九年二月二十九日

午後一時開議

- | | |
|----------------------------|------|
| 第一 大阪府下郡廢置法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第三 神奈川縣下郡廢置法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第五 兵庫縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第七 長崎縣下郡廢置法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第九 新潟縣下郡界變更及郡廢置法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第十一 埼玉縣下郡界變更及郡廢置法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第十三 群馬縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第十五 千葉縣下郡廢置法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第十七 茨城縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第十八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第十九 栃木縣下郡廢置法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第二十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第二十一 奈良縣下郡廢置法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第二十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第二十三 三重縣下郡廢置法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第二十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第二十五 靜岡縣下郡廢置法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第二十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第二十七 滋賀縣下郡界變更及郡廢置法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第二十八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第二十九 岐阜縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第三十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第三十一 福島縣下郡廢置法律案(政府提出) | 第一讀會 |

- | | |
|--------------------------------------|------|
| 第三十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第三十三 巖手縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出) | |
| 第三十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第三十五 富山縣下郡分劃及廢置法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第三十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第三十七 鳥取縣下郡廢置法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第三十八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第三十九 島根縣下郡廢置法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第四十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第四十一 岡山縣下郡廢置法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第四十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第四十三 廣島縣下郡廢置法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第四十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第四十五 山口縣下郡廢置法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第四十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第四十七 和歌山縣下郡廢置法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第四十八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第四十九 香川縣下郡廢置法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第五十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第五十一 愛媛縣下郡廢置法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第五十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第五十三 福岡縣下郡廢置法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第五十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第五十五 佐賀縣下郡廢置法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第五十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第五十七 熊本縣下郡廢置法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第五十八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第五十九 宮崎縣下郡廢置法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第六十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第六十一 鹿兒島縣下郡界變更及郡廢置法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第六十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第六十三 岡山縣兵庫縣境界變更及福岡縣大分縣境界變更法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第六十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第六十五 府縣農事試驗場國庫補助法案(安田益太郎君外五名提出) | 第一讀會 |
| 第六十六 我帝國領事館ヲ暹羅國ニ設置スル建議案(山下千代雄君外四名提出) | |

○議長(楠本正隆君) 諸君、是ヨリ報告ヲ致シマス

(佐脇書記官朗讀)

政府ヨリ明治二十六年歳入歳出總決算、明治二十六年歳入歳出検査報告ヲ提出セリ
政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
明治二十八年歳入歳出總豫算追加案
明治二十九年歳入歳出總豫算追加案
貴族院ヨリ回付セラレタル議案左ノ如シ
國立銀行營業滿期前特別處分法案
貴族院ニ於テ臨時軍事費特別會計ニ關スル法律案ヲ可決シタル旨同院ヨリ
通牒アリ

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
府縣會議員選舉規則第四條改正法律案
提出者 福田久 松君

國費ヲ以テ國學院ヲ保護スルノ建議案
提出者 山田泰造君

特別委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ

獸疫豫防法案審査特別委員長

同理事

集會及政社法中刪除法律案審査特別委員長

同理事

水火消防組ニ關スル法律案審査特別委員長

同理事

海上ニ於ケル生命財産救護ニ關スル建議案

審査特別委員長

同理事

鐵道敷設法中改正法律案協議委員左ノ通り指名セリ

西山志澄君

鳩山和夫君

梶山鼎介君

西村甚右衛門君

望月右内君

特別委員左ノ通り指名セリ

移民保護法案審査特別委員

山下千代雄君

鹿島秀磨君

木村誓太郎君

野口代治君

工藤行幹君

重野謙次郎君

田口卯吉君

加賀美嘉兵衛君

武市彰一君

厚地敏君

櫻井義勉君

櫻井義起君

佐藤忠望君

小畑岩次郎君

細井金四郎君

新井啓一郎君

山田忠兵衛君

眞下珂十郎君

杉村寛正君

和田彦次郎君

小柳卯三郎君

板東勘五郎君

○議長(楠本正隆君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、請暇ノ件ニ就イテ決議ヲ要シマス、百万梅治君病氣ニ附キ二週間ノ請暇、御承認ヲ請ヒマス

(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

○議長(楠本正隆君) 本日ハ民法修正案ノ委員會ヲ開キマスニ因テ該委員長ヨリ退席ノ請求ガゴザイマス、是レ亦御承認ヲ請ヒマス

(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

○議長(楠本正隆君) 次ハ日程ノ第一ヨリ第六十二マデハ郡ノ廢置分合ニ關スル議案デゴザリマス、第一ヨリ第六十二マデヲ併テ議題ニ供シマス——朗讀ハ省略シマス

- 第一 大阪府下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第三 神奈川縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第五 兵庫縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出) 第一讀會
- 第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第七 長崎縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會
- 第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第九 新潟縣下郡界變更及郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十一 埼玉縣下郡界變更及郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十二 群馬縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十三 群馬縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十四 千葉縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十六 茨城縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十八 栃木縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第二十 奈良縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第二十二 三重縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第二十四 靜岡縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二十五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第二十六 滋賀縣下郡界變更及郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二十七 出 第一讀會
- 第二十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第二十九 岐阜縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出) 第一讀會

第三十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第三十一 福島縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會

第三十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第三十三 巖手縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出) 第一讀會

第三十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第三十五 富山縣下郡分離及廢置法律案(政府提出) 第一讀會

第三十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第三十七 鳥取縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會

第三十八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第三十九 島根縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會

第四十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第四十一 岡山縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會

第四十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第四十三 廣島縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會

第四十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第四十五 山口縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會

第四十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第四十七 和歌山縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會

第四十八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第四十九 香川縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會

第五十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第五十一 愛媛縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會

第五十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第五十三 福岡縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會

第五十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第五十五 佐賀縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會

第五十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第五十七 熊本縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會

第五十八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第五十九 宮崎縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會

第六十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第六十一 鹿兒島縣下郡廢置及郡界變更及郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會

第六十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

(左ノ議案ハ期讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

大阪府下郡廢置法律案

大阪府河內國石川郡、錦部郡、八上郡、古市郡、安宿部郡、丹南郡及志紀郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ南河內郡ヲ置ク

大阪府河內國丹北郡、大縣郡、高安郡、河內郡、若江郡及澁川郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ中河內郡ヲ置ク

大阪府河內國茨田郡、交野郡及讀賣郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ北河內郡ヲ置ク

大阪府和泉國大島郡及泉郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ泉北郡ヲ置ク

大阪府和泉國南郡及日根郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ泉南郡ヲ置ク

大阪府攝津國東成郡及住吉郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ東成郡ヲ置ク

大阪府攝津國島上郡及島下郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ三島郡ヲ置ク

大阪府攝津國豐島郡及能勢郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ豐能郡ヲ置ク

附則 此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

神奈川縣下郡廢置法律案

神奈川縣相模國大住郡及海綾郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ中郡ヲ置ク

附則 此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

兵庫縣下郡廢置及郡界變更法律案

兵庫縣攝津國武庫郡、菟原郡及八郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ武庫郡ヲ置ク

兵庫縣攝津國川邊郡ノ一部(高平村)ヲ同縣同國有馬郡ニ編入ス

兵庫縣但馬國城崎郡、美含郡及氣多郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ城崎郡ヲ置ク

兵庫縣但馬國七美郡及二方郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ美方郡ヲ置ク

兵庫縣播磨國飾東郡及飾西郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ飾磨郡ヲ置ク

兵庫縣播磨國神東郡及神西郡ヲ廢シ其ノ區域ト多可郡ノ一部(越知谷村)トヲ以テ神崎郡ヲ置ク

兵庫縣播磨國揖東郡及揖西郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ揖保郡ヲ置ク

附則 此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

長崎縣下郡廢置法律案

長崎縣壹岐國壹岐郡及石田郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ壹岐郡ヲ置ク

附則 此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

新潟縣下郡界變更及郡廢置法律案

新潟縣越後國三島郡ノ一部(間瀬村)ヲ同縣同國西蒲原郡ニ編入ス

新潟縣佐渡國雜太郡、加茂郡及羽茂郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ佐渡郡ヲ置ク

附則 此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

衆議院議事速記第二十八號

明治二十九年二月二十九日

長崎縣下郡廢置法律案 第一讀會

新潟縣下郡界變更及郡廢置法律案 第一讀會

四〇三

埼玉縣下國界變更及郡廢置法律案

埼玉縣武藏國北足立郡及新座郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ北足立郡ヲ置ク
埼玉縣武藏國入間郡及高麗郡ヲ廢シ其ノ區域ト比企郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(植木村)トヲ以テ入間郡ヲ置ク

埼玉縣武藏國橫見郡ヲ廢シ其ノ區域ト比企郡ニ屬セシ區域ノ一部(松山町、大岡村、福田村、宮前村、唐子村、菅谷村、七鄉村、八和田村、小川町、大河村、竹澤村、平村、玉川村、明覺村、龜井村、今宿村、高坂村、野木村、小見野村、中山村、八ッ保村、伊草村、三保谷村、出丸村)トヲ以テ比企郡ヲ置ク

埼玉縣武藏國兒玉郡、賀美郡及那珂郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ兒玉郡ヲ置ク
埼玉縣武藏國大里郡、幡羅郡、榛澤郡及男衾郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ大里郡ヲ置ク

埼玉縣武藏國北葛飾郡及同縣下總國中葛飾郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ北葛飾郡ヲ置キ武藏國ニ屬ス

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

群馬縣下郡廢置及郡界變更法律案

群馬縣上野國東群馬郡及南勢多郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ勢多郡ヲ置ク
群馬縣上野國片岡郡ヲ廢シ其ノ區域ト西群馬郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(高崎町、元總社村、車鄉村、長野村、清里村、相馬村、瀧川村、六鄉村、室田村、大類村、箕輪村、久留馬村、國府村、總社町、金古町、佐野村、東村、上郊村、倉田村、岩鼻村、中川村、新高尾村、塚澤村、堤ヶ岡村、倉賀野村、澁川町、京ヶ島村、長尾村、小野上村、古卷村、白郷井村、金島村、桃井村、駒寄村、明治村、豐秋村、伊香保町)トヲ以テ群馬郡ヲ置ク

群馬縣上野國西群馬郡ニ屬セシ區域ノ一部(高山村)ヲ同縣同國吾妻郡ニ編入ス
群馬縣上野國綠野郡、多胡郡及南甘樂郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ多野郡ヲ置ク

群馬縣上野國利根郡及北勢多郡ヲ廢シ其ノ區域ト吾妻郡ノ一部(久賀村)トヲ以テ利根郡ヲ置ク
群馬縣上野國佐位郡及那波郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ佐波郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

千葉縣下郡廢置法律案

千葉縣安房國安房郡平郡及朝夷郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ安房郡ヲ置ク
千葉縣上總國望陀郡周准郡及天羽郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ津郡ヲ置ク
千葉縣上總國長柄郡及上埴生郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ長生郡ヲ置ク
千葉縣上總國山邊郡及武射郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ山武郡ヲ置ク
千葉縣下總國東葛飾郡及南相馬郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ東葛飾郡ヲ置ク

千葉縣下總國印旛郡及下埴生郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ印旛郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

茨城縣下郡廢置及郡界變更法律案

茨城縣下總國結城郡岡田郡及豐田郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ結城田郡ヲ置ク

茨城縣下總國西葛飾郡及猿島郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ葛島郡ヲ置ク

茨城縣常陸國信太郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(江戸崎町、君賀村、沼里村、奥野村、朝日村、君原村、阿見村、鳩崎村、木原村、舟島村、安中村、浮島村)ト河内郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(大宮村、生板村、源清田村、長竿村、柴崎村、根本村、長戸村、八原村、岡田村、馴柴村、牛久村、莖崎村、太田村、高田村、大須賀村、伊崎村、阿波村、古渡村、龍ヶ崎町)トヲ以テ信河郡ヲ置ク

茨城縣常陸國筑波郡ノ一部(山ノ莊村)及信太郡ニ屬セシ區域ノ一部(東村、中家村)ヲ同縣同國新治郡ニ編入ス

茨城縣下總國北相馬郡ノ一部(長崎村)同縣常陸國新治郡ノ一部(葛城村、大穗村、田水山村)及同縣常陸國河内郡ニ屬セシ區域ノ一部(小野川村)ヲ同縣常陸國筑波郡ニ編入ス

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

栃木縣下郡廢置法律案

栃木縣下野國足利郡及梁田郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ足利郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

奈良縣下郡廢置法律案

奈良縣大和國添上郡及山邊郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ東平城郡ヲ置ク

奈良縣大和國添下郡及平群郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ西平城郡ヲ置ク

奈良縣大和國廣瀨郡及葛下郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ葛城郡ヲ置ク

奈良縣大和國式上郡、式下郡及十市郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ磯城郡ヲ置ク
奈良縣大和國高市郡、葛上郡及忍海郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ橿原郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

三重縣下郡廢置法律案

三重縣伊賀國阿拜郡及山田郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ阿山郡ヲ置ク

三重縣伊賀國名張郡及伊賀郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ伊名郡ヲ置ク

三重縣伊勢國三重郡及朝明郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ三重郡ヲ置ク

三重縣伊勢國奄藝郡及河曲郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ河藝郡ヲ置ク

三重縣伊勢國飯高郡及飯野郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ比郡ヲ置ク
三重縣志摩國答志郡及英虞郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ志摩郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

靜岡縣下郡廢置法律案

靜岡縣遠江國佐野郡及城東郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ小笠郡ヲ置ク
靜岡縣遠江國磐田郡及山名郡ヲ廢シ其ノ區域ト豐田郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(中泉町、梅原村、天龍村、長野村、袖浦村、十束村、井通村、池田村、富岡村、岩田村、廣瀬村、向笠村、大藤村、今井村、三川村、敷地村、二俣町、野部村、光明村、龍川村、山香村、佐久間村、浦川村、熊村、上阿多古村、下阿多古村)トヲ以テ磐田郡ヲ置ク

靜岡縣遠江國長上郡及濱名郡ヲ廢シ其ノ區域ト敷知郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(濱松町、曳馬村、三方原村、天神町、白脇村、淺場村、新津村、篠原村、舞阪町、新居町、吉津村、新所村、知波田村、入出村、和地村、吉野村、北庄、內村、南庄、內村、村柳村、雄踏村、神久呂村、入野村、伊佐見村、富塚村)ト豐田郡ニ屬セシ區域ノ一部(赤佐村、中瀬村、龍池村、豐西村、中ノ町村)トヲ以テ濱松郡ヲ置ク

靜岡縣遠江國引佐郡及鹿玉郡ヲ廢シ其ノ區域ト敷知郡ニ屬セシ區域ノ一部(西濱名村、東濱名村)トヲ以テ引佐郡ヲ置ク

靜岡縣駿河國安倍郡及有渡郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ安倍郡ヲ置ク

靜岡縣駿河國志太郡及益津郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ志太郡ヲ置ク

靜岡縣伊豆國那賀郡ヲ廢シ其ノ區域ト賀茂郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(下田町、城東村、稻取村、下河津村、上河津村、稻梓村、稻生澤村、濱崎村、朝日村、竹麻村、南崎村、南中村、南上村、三坂村、三濱村、岩科村、松崎村)トヲ以テ賀茂郡ヲ置ク

靜岡縣伊豆國田方郡及君澤郡ヲ廢シ其ノ區域ト賀茂郡ニ屬セシ區域ノ一部(多賀村、網代村、宇佐美村、伊東村、小室村、上大見村、中大見村、下大見村、對島村、熱海町)トヲ以テ田方郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

滋賀縣下郡界變更及郡廢置法律案

滋賀縣近江國神崎郡ノ一部(葉枝見村)ヲ同縣同國愛知郡ニ編入ス
滋賀縣近江國伊香郡及西淺井郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ伊香郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

岐阜縣下郡廢置及郡界變更法律案

岐阜縣美濃國厚見郡、各務郡及方縣郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ稻葉郡ヲ置ク
岐阜縣美濃國羽栗郡及中島郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ羽島郡ヲ置ク
岐阜縣美濃國海西郡及下石津郡ヲ廢シ其ノ區域ト安八郡ノ一部(今尾町、高田村、三郷村、佛師川村、平原村、土倉村、脇野村、西島村)トヲ以テ海津郡

ヲ置ク

岐阜縣美濃國多藝郡及上石津郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ養老郡ヲ置ク
岐阜縣美濃國大野郡及池田郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ揖斐郡ヲ置ク
岐阜縣美濃國本巢郡及席田郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ本巢郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

福島縣下郡廢置法律案

福島縣磐城國菊多郡、磐前郡及磐城郡ヲ廢シ其ノ區域ト檜葉郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(川前村)トヲ以テ石城郡ヲ置ク
福島縣磐城國標葉郡ヲ廢シ其ノ區域ト檜葉郡ニ屬セシ區域ノ一部(久之濱村、大久村、廣野村、木戸村、龍田村、富岡村、上岡村、川內村)トヲ以テ雙葉郡ヲ置ク
福島縣磐城國行方郡及宇多郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ相馬郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

巖手縣下郡廢置及郡界變更法律案

巖手縣陸中國南巖手郡及北巖手郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ巖手郡ヲ置ク
巖手縣陸中國西和賀郡ヲ廢シ其ノ區域ト東和賀郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(黑澤尻町、鬼柳村、岩崎村、橫川、目村、藤根村、江釣子村、笹間村、飯豐村、二子村、立花村、更木村、中內村、谷內村、十二鎗村、小山田村)トヲ以テ和賀郡ヲ置ク
巖手縣陸中國東和賀郡ニ屬セシ區域ノ一部(相去村)ヲ同縣同國膽澤郡ニ編入ス

巖手縣陸中國西閉伊郡及南閉伊郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ上閉伊郡ヲ置ク
巖手縣陸中國東閉伊郡、中閉伊郡及北閉伊郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ下閉伊郡ヲ置ク

巖手縣陸中國南九戸郡及北九戸郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ九戸郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

富山縣下郡分劃及郡廢置法律案

富山縣越中國上野川郡ノ一部(西水橋町、西三郷村、東三郷村、舟橋村、利田村、寺田村、五百石町、高野村、下段村、大森村、釜ヶ淵村、立山村、上段村、東谷村、柿澤村、大岩村、弓庄村、白萩村、音杉村、上市町、相ノ木村、宮川村、上條村、下條村、東水橋町、滑川町、南加積村、山加積村、中加積村、西加積村、北加積村、東加積村、早月加積村、濱加積村)ヲ以テ中新川郡ヲ置ク
富山縣越中國射水郡ノ一部(太田村、宮田村、窪村、佛生寺村、布勢村、神代村、十二町村、氷見町、加納村、上庄村、熊無村、速川村、久目村、阿尾村、藪田村、余川村、稻積村、基石村、八代村、宇波村、女良村)ヲ以テ永見郡ヲ置ク

富山縣越中國礪波郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(北山田村、山田村、南山田村、大鋸屋村、城端町、能美村、平村、上平村、利賀村、青島村、東山見村、雄神村、梅檀山村、梅檀野村、般若村、東般若村、般若野村、中田町、南般若村、北般若村、柳瀬村、太田村、中野村、油田村、庄下村、井波町、南山見村、井口村、高瀬村、山野村、種田村、福野町、南野尻村、廣塚村、野尻村、東野尻村、五鹿屋村、出町)ヲ以テ東礪波郡ヲ置キ其ノ區域ノ一部(石動町、宮島村、子撫村、南谷村、埴生村、北礪波村、南礪波村、東礪波村、西礪波村、石黒村、西野尻村、福光町、西太美村、廣瀬村、廣瀬館村、太美山村、東太美村、吉江村、東石黒村、戸出町、津澤町、水島村、鷹栖村、高波村、林村、醍醐村、是戸村、小勢村、福田村、東五位村、立野村、山王村、福岡町、正得村、大瀧村、松澤村、若林村、荒川村、西五位村、五位山村、石堤村、赤丸村、國吉村)ヲ以テ西礪波郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

鳥取縣下郡廢置法律案

鳥取縣因幡國邑美郡、法美郡及岩井郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ岩美郡ヲ置ク
鳥取縣因幡國八上郡、八東郡及智頭郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ八頭郡ヲ置ク
鳥取縣因幡國高草郡及氣多郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ氣高郡ヲ置ク
鳥取縣伯耆國河村郡、久米郡及八橋郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ東伯郡ヲ置ク
鳥取縣伯耆國汗入郡及會見郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ西伯郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

島根縣下郡廢置法律案

島根縣出雲國島根郡、秋鹿郡及意宇郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ八東郡ヲ置ク
島根縣出雲國仁多郡及大原郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ鏡上郡ヲ置ク
島根縣出雲國出雲郡、楯縫郡及神門郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ大國郡ヲ置ク
島根縣石見國邇摩郡及安濃郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ石東郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

岡山縣下郡廢置法律案

岡山縣美作國眞島郡及大庭郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ眞庭郡ヲ置ク
岡山縣美作國西條郡、西北條郡、東南條郡及東北條郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ吉野郡ヲ置ク
岡山縣美作國勝北郡及勝南郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ勝田郡ヲ置ク
岡山縣美作國英田郡ヲ廢シ其ノ區域ト吉野郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(西粟

倉村、東粟倉村、大原村、讀甘村、大字中山、大野村、大吉村、吉野村、栗井村、栗廣村)トヲ以テ英田郡ヲ置ク

岡山縣美作國久米北條郡及久米南條郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ久米郡ヲ置ク

岡山縣備前國御野郡及津高郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ御津郡ヲ置ク

岡山縣備前國赤阪郡及磐梨郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ赤阪郡ヲ置ク

岡山縣備前國邑久郡及上道郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ邑上郡ヲ置ク

岡山縣備前國都宇郡及窪屋郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ都窪郡ヲ置ク

岡山縣備前國小田郡及後月郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ月田郡ヲ置ク

岡山縣備前國中道郡及賀陽郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ賀下郡ヲ置ク

岡山縣備前國中上房郡及川上郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ上川郡ヲ置ク

岡山縣備前國吾多郡及阿賀郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ阿吾郡ヲ置ク

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

廣島縣下郡廢置法律案

廣島縣備後國深津郡及安那郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ深安郡ヲ置ク
廣島縣備後國鹽田郡及品治郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ鹽品郡ヲ置ク
廣島縣備後國神石郡及甲奴郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ神奴郡ヲ置ク
廣島縣備後國三次郡及三谿郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ三次郡ヲ置ク
廣島縣備後國奴可郡、三上郡及惠蘇郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ三可惠郡ヲ置ク

廣島縣安藝國沼田郡及高宮郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ沼高郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

山口縣下郡廢置法律案

山口縣長門國阿武郡及見島郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ阿武郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

和歌山縣下郡廢置法律案

和歌山縣紀伊國名草郡及海部郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ海草郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

香川縣下郡廢置法律案

香川縣讚岐國大內郡及寒川郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ大川郡ヲ置ク
香川縣讚岐國三木郡及山田郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ木田郡ヲ置ク

香川縣讚岐國阿野郡及鷺足郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ綾歌郡ヲ置ク
香川縣讚岐國那珂郡及多度郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ仲多度郡ヲ置ク
香川縣讚岐國三野郡及豐田郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ三豐郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

愛媛縣下郡廢置法律案

愛媛縣伊豫國溫泉郡、久米郡、風早郡及和氣郡ヲ廢シ其ノ區域ト下浮穴郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(三内村、南吉井村、浮穴村、拜志村、荏原村、阪本村)ト伊豫郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(垣生村、余土村)トヲ以テ溫泉郡ヲ置ク
愛媛縣伊豫國越智郡及野間郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ越智郡ヲ置ク
愛媛縣伊豫國周布郡及桑村郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ周桑郡ヲ置ク
愛媛縣伊豫國伊豫郡ニ屬セシ區域ノ一部(南山崎村、北山崎村、郡中村、郡中町、南伊豫村、北伊豫村、岡田村、松前村)ト下浮穴郡ニ屬セシ區域ノ一部(原町村、砥部村、廣田村、出瀨村、中山村、佐禮谷村、上灘村、下灘村)トヲ以テ伊豫郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

福岡縣下郡廢置法律案

福岡縣筑前國嘉麻郡及穗波郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ嘉穗郡ヲ置ク
福岡縣筑前國上座郡、下座郡及夜須郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ朝倉郡ヲ置ク
福岡縣筑前國御笠郡、那珂郡及席田郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ筑紫郡ヲ置ク
福岡縣筑前國怡土郡及志摩郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ糸島郡ヲ置ク
福岡縣筑後國竹野郡ヲ廢シ其ノ區域ト生葉郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(姫治村、大石村、山春村、榑子村、浮羽村、千年村、福富村、江南村、吉井町)トヲ以テ浮羽郡ヲ置ク
福岡縣筑後國上妻郡及下妻郡ヲ廢シ其ノ區域ト生葉郡ニ屬セシ區域ノ一部(星野村)トヲ以テ八女郡ヲ置ク
福岡縣筑後國御井郡、御原郡及山本郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ三井郡ヲ置ク
福岡縣豐前國京都郡及仲津郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ京都郡ヲ置ク
福岡縣豐前國築城郡ヲ廢シ其ノ區域ト上毛郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(山田村、八屋町、宇島町、千束村、三毛門村、黒土村、横武村、合河村、西吉富村、岩屋村、友枝村、唐原村、南吉富村、東吉富村、高濱村)トヲ以テ築上郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

佐賀縣下郡廢置法律案

佐賀縣肥前國基肄郡、養父郡及三根郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ三養基郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

熊本縣下郡廢置法律案

熊本縣肥後國飽田郡及託麻郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ飽託郡ヲ置ク
熊本縣肥後國山鹿郡及山本郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ鹿本郡ヲ置ク
熊本縣肥後國菊池郡及合志郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ菊志郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

宮崎縣下郡廢置法律案

宮崎縣日向國宮崎郡及北那珂郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ宮崎郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

鹿兒島縣下國界並郡界變更及郡廢置法律案

鹿兒島縣日向國南諸縣郡及同縣大隅國東嶺嶽郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ嶺嶽郡ヲ置キ大隅國ニ屬ス
鹿兒島縣薩摩國鹿兒島郡及嶺山郡並同縣大隅國北大隅郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ鹿兒島郡ヲ置キ薩摩國ニ屬ス
鹿兒島縣大隅國菱刈郡及同縣薩摩國北伊佐郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ伊佐郡ヲ置キ薩摩國ニ屬ス
鹿兒島縣大隅國始良郡、桑原郡及西嶺嶽郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ始良郡ヲ置ク
鹿兒島縣大隅國肝屬郡及南大隅郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ肝屬郡ヲ置ク
鹿兒島縣大隅國熊毛郡及馭謨郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ熊毛郡ヲ置ク
鹿兒島縣薩摩國揖宿郡及類娃郡ヲ廢シ其ノ區域ト給黎郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(喜入村)トヲ以テ揖宿郡ヲ置ク
鹿兒島縣薩摩國川邊郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(川邊村、加世田村、東加世田村、西加世田村、勝目村、東南方村、西南方村)ト給黎郡ニ屬セシ區域ノ一部(知覽村)トヲ以テ川邊郡ヲ置ク
鹿兒島縣薩摩國日置郡及阿多郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ日置郡ヲ置ク
鹿兒島縣薩摩國薩摩郡、高城郡、南伊佐郡及甑島郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ薩摩郡ヲ置ク
鹿兒島縣薩摩國川邊郡ニ屬セシ區域ノ一部(硫黃島、黒島、竹島、口ノ島、臥蛇)

島平島、中ノ島、惡石島、諏訪ノ瀬、島寶島）ヲ同縣大隅國大島郡ニ編入ス

附則

此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

○谷河尙忠君（十番） 政府委員ニ質問ガゴザイマス、此各府縣ノ郡ノ廢置案ノ中ニ、本年四月カラ施行スルノト、三十年ノ四月カラ施行スルノト云フノガアリマスルガ、ドウ云フ都合デ斯ウナ、テ居リマスルカ

（政府委員内務次官松岡康毅君演壇ニ登ル）

○政府委員（松岡康毅君） 唯今ノ御尋、此分合ノ當年四月カラ施行スルノト、來年四月ヨリ施行スルノト二様ニナツテ居ル譯ハ如何デアルカト云フ御尋デゴザイマスルガ、ソレニ御答致シマスルノハ、當年ノ四月カラ行ヒマスル分ハ、郡ノ名前ハ變リマシテモ郡役所ヲ新設ニ持ヘタリスルヤウナ世話ノナイ所ヲ重ニヤリマス、サウシテ次ニ二十九年度ノ豫算中ニ於テ郡長ノ俸給ノ繰回シノ附キマスノト、ソレト此廢置案所ノ郡長ノ餘分ノ生シテ來マスノト、ソレヲ併テ差引ノ付クノヲ目的トシテ當年四月ヨリ行フコトニ致シマス、其後トノ分ハ、マダサウ云フ設備ノコトヤ何カノタメ來年四月ヨリスルト云フ譯デ二様ニ致シテ次第デゴザイマス、序ニ本案ヲ提出致シマシタ所ノ次第柄ニ就キマシテ少シク申上ゲテ置キタイト存シマスルノハ、諸君モ御承知ノ通、我邦ニ於キマシテ國郡村杯ノ分界ヲ古代ニ在ッテ致サレマシタ所ノ事柄ハ、固ヨリ此行政上ノ必要デ致シタコトニハ相違アリマスマイシ、又其國郡村ノ區劃ヲ定メラレマシタ當時ニ於テハ、無論適當ナ事デゴザイマシタラウト思ハレマスルガ、御承知ノ武門政治ノ世ノ中ニナリマシタカラハ、殆ド郡ト云フモノハ行政上ノ作用ハ餘リ爲サナイヤウナコトニナリマシタ、ト申スノハ一郡中ニハ領主ガ幾ツモ出來マシタリ、或ハ其采地ト申シテ、種々ナ人ニ屬セラレタリスルト云フヤウナコトカラ、自ラ行政上ノ管轄區域ト云フコトハ有名無實ノヤウナコトニナリマシタコトデゴザイマスルガ、然ルニ明治維新ノ後、追々文物制度モ進デ參リマシテ、此郡ト申スモノモ頗ル國家行政ノ機關ヲ運轉スル上、即チ行政上ニ必要ナ區劃ト云フモノニ成至リマシテ、是ニ加フルニハ郡モ亦自治ノ權ヲ與ヘラレマシテ、一ノ團體ト爲テ權利ヲ有シ、義務ヲ負フト申シテ、一ノ法人體ノ事ニナルニ及ビマシテハ、愈々此郡ノ境界ト云フモノヲ適當ニスルト云フコトハ最も必要ナ事ニナリマシタ、則チ郡ノ廢置分合ヲ致シマスルト云フコトハ、御承知ノ此郡制ヲ布ク前手續デゴザイマス、郡制ヲ布カウト云フニハ、先ヅ境界ヨリ正シクスルコトガ必要ニナリマシタ、ソレ故此提出致シマシタ郡ノ廢置分合ヲスルト云フコトハ、則チ國家行政ノ機關ヲシテ滑ニ運轉セシムルノト、一ハ郡ノ自治ヲ行フト云フ所ノ準備ノタメニ最も要用ナ事柄ニナリマシタ次第デゴザイマスル、

此分合ノ事ニ關シマシテハ、明治二十三年ノ時ニ始テ本院へ政府ヨリ案ヲ提出致シマシタコトデゴザイマシタガ、其時委員會ニ於テ段々修正モゴザイマシテ、詰リ委員會ハ通りマシタ、所ガ、本會ニ於テ遂ニ否決セラレマシタ、ソレカラ次ニ二十四年ノ時ニハ、更ニ前年ノ委員會ノ修正ヲ折衷致シマシタリ、其他ノ又考ヘル所モ併セマシテ、第二回目ニ提出スルコトニナリマシタ、其間ニ於キマシテ廢置分合ヲ要セザル郡ニ對シマシテハ、名古屋其外十郡バカリハ直チニ郡制ヲ布キマシテ、現ニ今日マデ施行シ來ッテ居リマス次第デゴザイマス、其第二回目、二十四年ノ議會ノ節ニ提出致シマシタ分ハ、此案ノ成立スル以前ニ議院ノ解散ニ遭遇致シマシテ、遂ニ其時モ不成立ノ不幸ヲ見ルコトデゴザイマシタ、然ル所其後各地方ノ人民ヨリハ廢置分合ニ關シテ、請願或ハ陳情ト申スモノガ如何ニモ多ク出テ參リマシタ、即チ本院ニ向ッテ請願ヲシタ向キモゴザイマスルシ、主務省ニ向ッテ直チニ書面ヲ提出シタモノモゴザイマス、又政府ニ於キマシテモ、此廢置分合ト申スモノハ行政上ノ上カラモ、又自治ノ上カラモ甚ダ區劃ヲ適當ニセヌケレバナラヌト云フ必要ヲ感シマシタコト故ニ、種々ノ調査ヲ致シマシテ、十分考察ヲ盡シテ、此度本案トシテ提出スルコトニ運ビマシタコトデゴザイマス、其調査致シマシタ所ノ目的ハ、抑此國土ヲ境劃スルト云フコトハ、實ニ其政ヲ爲スノ大本デゴザイマシテ、之ヲ爲サウト申スノハ、先ヅ第一番ニ天然ノ地理、ソレカラ古來ノ歴史、又其地方住民ノ交通ノ便利、或ハ其土地ノ面積、戶數、人口、又ハ租稅ノ多寡、斯様ナモノヲソレ／＼參酌ヲセシケレバナリマセヌデ、若シソレガ一部人民ノ情願ヤ、或ハドウカシテ一種ノ事情ノ關係等ノタメニ其境界ヲ杜撰漏ナ分合等ヲ致シマシタトキニハ、國家行政ノ活動ヲ妨ゲルコトハ申スマデモナク、自治ノ圓滿ト云フモノモ遂ニハ行レナイコトニ至リマス、ソレ故ニ參互錯綜致シマシテ、幾許ノ手數ヲ顧ミズ調査仕上ゲ次第デゴザイマス、次ニ又此本案ヲ決定致シマスルニ最も重キヲ措キマシタノハ、現在ノ郡役所ノアルコトデゴザイマス、一ツノ郡役所ヲ置クコトモ、隨分地方ノ人民ニ依リマスレバ利害ヲ異ニ致シマスカラ、容易ニ變更ヲスルコトモ出來難イモノデゴザイマシテ、凡ソ此地方ノ區劃杯ハ、先ヅ慣レテ格別ニ障リガナケレバ、ソレヲ以テ善シトスルト云フコトモ重要ナモノデゴザイマスルカラ、唯今郡役所所在ノ地ノ管轄區域ト申スモノニ重モニ眼ヲ著ケテ取調ヲ致シマシタ、ソレハ何故ナレバ、何モ多少ノ年所ヲ閱歷致シマシテ、利害ノアル所ト云フモノモ略々知リ得ラレコトニナツテ居リマスルモノ故、苟モ既ニ共同一致ノ習慣ヲ爲シテ、一團體ノ實ヲ現シテ居リマスル以上ハ、成ルベクソレニ依ッテ、ソレヲ破壞スルコトヲシナイヤウナ主義ヲ執リマシタコトデゴザイマス、デ、此法案ニ於キマシテ、全國ノ郡ノ現在ノ郡ヲ廢シマ

シタモノガ三百十八程アリマシタ、ソレカラ置キマシタ所ノ郡ガ百四十一程
ニナリマス、ソコデ此改正ヲ爲シ遂ゲマシタ曉ニハ、北海道、沖繩縣ヲ除
キマスルノ外、總テノ府縣ヲ併セマシタ所デ、郡ノ數ハ五百三十二箇所ニナ
リマス、改正以前ノ郡ノ數ハ即チ七百零九箇所デゴザイマシタ、ソレニ比較
シマスルト、差引百七十五程郡ガ減リマスノデ、郡役所ノ數ハ、唯今現在ノ
ガ五百九箇所ゴザイマスルノヲ、改正後總テ實施致シマスルト五百三十二程
ニナリマシタ、差引二十三箇所バカリ、郡役所ガ唯今ノ有様ヨリハ殖エルコ
トニナルノデゴザイマス、デ、前ニ申上ゲマシタ如ク、此郡ノ境界ヲ定メマ
セヌケレバ、即チ廢置分合ヲ先ヅ致シマセヌケレバ、國政ノ機關ノ活動ノ不
十分ナルコトハ暫ク申シマセズトモ、郡ノ自治制即チ郡制、又引續イテ府縣
ト申ス類ノモノヲ到底行フコトガ出來マセヌモノ故、此郡廢置分合ハ即チ府
縣制、郡制ヲ行フ所ノ準備ト爲リマスル所ノ甚ダ重要ナルモノデゴザイマス、
或ハ唯今ノ郡制ヲ改革シナイ間ニハ、郡ノ廢置分合ヲスルノハ必要デアラ
ウ、或ハ有害デアラウト云フ說ヲ抱カレル方、モアルカモ計ラレマセヌケレ
ドモ、是ハ強テ差支ナイト政府ハ思ヒマスルノデ、先ヅ第一郡制ノ改正案ト申
スノモ多分其中ニ成立ハスルデゴザイマセウ、又成立ガ見ルニ及バナイト致
シタ所ガ、現在四十有餘ノ縣ニハ、現行ノ郡制ト申スモノヲ布イテ居リマス
コトデゴザイマスカラ、必ズ今ノ郡制ヲ改正シナケレバ郡制ノ施行ノ出來ナ
イト云フ理窟ハ決シテナイト考ヘラレマス、又成ルベク此郡制、續イテ府縣
制ト申スモノ、實施ガ出來マセヌト、ドウモ地方ニ於キマシテ大キナル事業
坏デモシヤウト云フニハ頗ル妨害ヲ致シマシテ、例ヘテ申セバ公債ヲ起シテ
物ヲスルト云フヤウナコトノタメニ甚ダ都合デモゴザイマスル、其他此制
度ヲ行フテ居ル所ト行ハナイ所ニ於キマシテハ、甚ダ人民ノ權利ノミナラ
ズ、便否ニ於テモ差アルコトデゴザイマスカラ、即チ下級ノ市町村杯ハ即チ
自治ノ制ガ行レテ居リマスノニ、其上ニ郡制ガ行レズ、又府縣ノ制ト申スモノ
モ行レナイト申スモノハ、半バ活動ノ妙用ヲ缺イテ居ルト申シテモ宜シイヤ
ウナ次第デゴザイマスカラ、唯今ノ郡制改正ニ必ズ伴ハナクとも差支ナイト
云フ次第、是ヲ以テ御諒察アリタイト存ジマス、ソレカラ又先刻御尋モゴザイ
マシテ述べマシタヤウニ、此廢置分合致シマシテミナ直ニ郡制ガ布カレル
ト申ス譯デハゴザイマセヌ、郡制ヲ布クガタメノ準備デゴザイマスカラ、此
廢置分合ヲシテ置キマシテ、其上ハ即チ法律ニモ明文ノゴザイマセヌ、
ソレノ準備ガ出來マスルト、知事ヨリ其狀ヲシテ參リマシテ、其時ニ及
ンデ之ヲ實施スル次第デゴザイマス、要スルニ郡ノ廢置分合ト申スノハ、繰
返シテ申シマスル通ニ府縣制並ニ郡制ヲ施行スル前手續デ、即チ準備ノ仕事
デゴザイマスカラ、之ヲ先ヅ定メテ而シテ後ニ郡制、府縣制ト申ス所ノ實施

ニ運ブ次第デゴザイマスカラ、ドウカ諸君ニ於キマシテモ速ニ本案ニ御協賛
アラシコトヲ希望致シマス

○志波三九郎君(九十一番) 私ハ日程第一ヨリ第六十マデヲ六箇ニ分テ、一
箇毎ニ十八名宛ノ委員ヲ拵ヘタイト思ヒマス

○工藤行幹君(百十番) 議長、質問ガアリマス

○議長(楠本正隆君) 質問ナラ後トデ出來マス

○志波三九郎君(九十一番) 唯今ノ私ノ意見ハ、其十八名ト云フコトハ、議
長ノ意見ニ依ッテ選舉ハ致シタイト思ヒマスガ、或ハ此十八名ト云フコトハ多
ウ過ギルト云フ御考ノアル人モアリマセウガ、其問題ト云フモノハ能ク調査
スルコトガ精密ニ届カナケレバナラナイト思ヒマスカラ、之ヲ六ツニ割ッテ、
十八名宛ノ委員ニ託シタイト云フ意見デゴザイマス、而シテ之ヲ六箇ニ分チ
マスル所ノモノハ、日程ノ第一ヨリ第十マデヲ一ツトシ、第十一ヨリ第二十マ
デヲ一箇トシ、第二十一ヨリ第三十マデ、第三十一ヨリ第四十マデ、第二十
一ヨリ第五十マデ、第五十一ヨリ第六十マデ、斯様ニ六箇ニ分ケタイト云フ
意見デアリマス

○工藤行幹君(百十番) 委員ノ動議ヨリハ質問ヲ先キニ致シタイ、私ハ動議
ニ不賛成デハゴザイマセヌガ、質問ヲ濟マシテカラ……

○議長(楠本正隆君) 即チ一括シテ議題ト爲シタ以上ハ、質問ト委員說ト前
後スル様ニナルモ已ムヲ得ヌ次第デアル

(「委員說贊成」ト呼フ者アリ)

○堀越寛介君(百六十四番) 委員說ニ就イテ、唯今一箇ニ就イテ十八名ト云
フコトニ致シマスルト、總體デ百零九名ト云フコトニナルダラウト思ヒマ
ス、是デハ餘リ多ウ過ギルト本員ハ考ヘマスカラ(「多ウ過ギル多ウ過ギル」
ト呼フ者アリ) 委員ハ總體デ三十六人ト致シマシテ、關係者即チ三十一ノ關
係府縣カラ一名宛三十一人、ソレカラ他ニ關係外ノ人ヲ五人ト致シテ三十
六人ノ委員ヲ選定致シタイ、ソレハ議長ヨリ指名ヲ願ヒタイ考デゴザイマ
ス

○工藤行幹君(百十番) 私ハ委員說ニ反對モナンニモスルノシヤナイ、總體
ニ就イテ質問ヲ致シタイ

(「質問ハ後トダ」ト呼フ者アリ)

○吉富簡一君(二百九十三番) 私ハ委員說ニ就キマシテ、此事ハ他ノ事ト違
ヒマシテ、一ハ原案デ宜イ、一ハ分離分合ニ反對スルコトガアリマスカラ、
ドウシテモ是ハ一府縣ニ於キマシテ、原案ノ一府縣ヨリ議長ノ特選ヲ以テ一
人ヅツ委員ニ選定シタイト云フ意見デアリマス、唯今三十一人ノ他ニ五名
云々ト云フコトガアリマシタガ、大約私ノ意見ト對デアリマスナレドモ、一

府縣ヨリ一人置キマセヌ以上ハ、他ノ府縣ノ事ヲ調ベルニハ能ク其府縣ノ代議士ニ照會セヌ以上ハ、委員會ハ結局ガ付カナイト考ヘマスカラ、一府縣宛ニ一人ヲ以テ、議長ノ見込ヲ以テ、御選定アラシコトヲ希望スルノデアリマス

○議長(楠本正隆君) 免ニ角委員說ニ就イテ決ヲ採ッテ……

○工藤行幹君(百十番) ソレカラ質問デスカ、ソレハ慣例ニ違フ、イツモ質問ガ濟シデカラ委員說ニナル

○議長(楠本正隆君) 委員說ヲ先キニ決シテ例ハ往々アリマス——志波三九郎君ハ委員會ヲ六ツ起シテ、一箇ヲ十八名宛ノ委員ヲ以テ組織シタイト云フノデアリマス、又堀越寛介君ハ三十六人ノ委員トシテ此議案ヲ皆付託シタイト云フノデアル、委員ノ選舉方法ニ附キ條件ガ付イテ居リマスガ、其條件ノ事ハ後ノコト、シテ、先ヅ委員ノ數ニ附イテ堀越寛介君ノ說ヨリ決ヲ採リマス

(條件ハドウデス)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 條件ハ付ケマセヌ——堀越寛介君ノ委員說ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(楠本正隆君) 少數ト認メマスル、次ハ志波三九郎君ノ動議——志波三九郎君ノ第一ヨリ第六十マデヲ六ツニ分チ各十八名ノ委員ニ付託スルト云フ動議ニ賛成ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數ト認メマス、因テ志波君ノ動議ノ通決定シマス

○工藤行幹君(百十番) 私ノ之ニ就イテ御聞キ申シタイノハ、此郡制ノ事ニ

郡制改正ノ事ニ就イテハ委員ガ出來テ居リマスカラ、其方ノ是マデノ運ビ方ヲ少シ承リタイト思フノデアリマス、何トナレバ元來此郡ノ分合ト云フノハ、元ト政府ハ現行ノ郡制ヲ實施スルニ就イテ是非トモ必要デアルカラ、此分合ヲ大ニ爲シタイト云フ斯ウ云フノデゴザイマス、然ルニ其時ハ他ノ事業モアツテ、遂ニ是ハ否決ニナツタコトデアル、其後私共モ年々提出シテ

居ツタ、又當年ノ議會ニモ提出ニナツテ、既ニ委員ニ付託サレテ居ルノデゴザイマスガ、此郡制ノ改正法案中ニハ郡ノ組合ヲ設ケルコトヲ得ルト云フコトガアルノデゴザイマス、現今ノ郡制ニハ郡ノ組合ガナシ、郡ノ組合ガナシニ就イテ大ナル郡ノ廢合ヲシナケレバナラナイ、或ハ分レル處モアラウシ、多クハ合併スルト云フコトニナラナケレバナラナイ、若シ此改正法案ノ如ク、郡ニ組合ヲ立テルコトヲ得ルト云フコトガ、即チ改正法案ガ通過スルコトニナレバ、餘程其合併スル所ガ少ナクナルダラウト私ハ考ヘルノデゴザイマス

ガ、然ルニ今一方ニハ、現法律ヲ目當トシテ此郡ノ廢合ヲスルノト、若シ改正法律案ガ成立ッテヤルノトハ、此廢合スル數ガ全國中デ餘程少ナルデアラウト私ハ思フノデゴザイマス、若シ現行ノ——現今ノ法律ヲ此儘デ遣ラウト云フ氣デ、無理ニ郡ノ廢合ヲシテ、サウシテ法律ガ改ッテ來ルト誠ニ徒勞ニ屬シタト云フコトノ結果ヲ見ルニ至リハシナイカト思フノデゴザイマス、故ニ私ノ御尋シタイト云フコトハ、目下委員諸君デ御取調ナツテ居ル所デ、此郡ノ組合ト云フモノヲ、果シテ其儘ニ提出者ノ如クニ存シテ置ク御見込デアルカ、又勿論此事ニ就イテハ吾々ノ能ク分リマセヌケレドモ、政府デハドレダケ承知シテ居ルカ、或ハ郡ノ組合ト云フコトモ政府ハ同意シテ居ルト云フコトナレバ、餘程此郡ノ廢合ガ數ガ少ナルダラウト思フ、併シ委員會ノ方デ、郡ノ組合ト云フモノニ政府ハ同意ヲ表シナイ意思カラシテ、此郡ノ廢置法案ガ出タノデアルカ、或ハ此組合ヲ立テ、モ是非トモ今度政府カラ提出シタ丈ノ、三百幾ラノ廢合ヲ爲サナケレバナラヌト云フ御積リデアルカト云フコトヲ承リタイ、故ニ一方ニ向イテハ委員ノ御方カラ承リタイト云フコトハ、郡ノ組合ハ政府ハ同意シテ居ルカ否カト云フコトヲ承リタイ、又一方ニ向イテハ政府デ同意シテ居ルト云フナラバ、組合ヲ設ケル制度ガ出來テ居ッテモ、今度出シタ三百幾ラノ郡ノ廢合ヲシナケレバナラヌ程ノ必要ガアルカト云フコトヲ承リタイ

○多田作兵衛君(二百二十五番) 特別委員會ノ都合ヲ御答致シマスガ、追々特別委員會ヲ開キマシテ、政府トモ御打合ヲシマシタ、大地主制ヲ廢スルト云フコトハ同意致シタノデゴザイマス、ソレカラ現行ノ複選デナイ、直接選舉ニ致スト云フコトモ政府ガ同意致シタノデゴザイマス、併シ直接選舉ノコトニ就イテハ注文ガアル、條件ガアル、ソレカラ組合ヲ立テルトカ何トカ云フコトハ段々特別委員會ガ進行ヲ致シテ、政府委員ニモ出席ヲ請ヒ、逐條審議ヲ致シテ居ル場合デアリマシテ、今日デハ組合法ニ同意トモ、不同意トモ、可決トモ否決トモ、明言スルコトハ出來マセヌ

○工藤行幹君(百十番) 私ハ政府委員ニ御尋シタイノデゴザイマス、政府委員ノ今度御提出ニナツタ郡ノ分合法案ト云フモノハ、飽クマデモ此郡制ノ上ニ郡ノ組合ト云フモノヲ置カヌト云フ御見込カラ、斯ウ云フ分合法案ヲ御出シニナツタノデアルカ、乃至ハ此郡ノ分合法案ト云フモノヲ郡制ノ上ニ立テ、モ、斯ノ如ク尙ホ多クノ廢合ヲシナケレバナラヌノデアルカ、私ハ政府委員ニ質問ヲ致シタイ

(政府委員内務次官松岡康毅君演壇ニ登ル)
○政府委員(松岡康毅君) 御答致シマスガ、此案ヲ出シマシタノハ、先刻申述ベマシタ如ク、二十三年、四年引續イテ調査ヲシテ、其儘今日出スコトニ

至々次第デゴザイマスカラ、郡制ノドウ云フ改正ニナラウカト云フコトハ、固ヨリ眼中ニ措イテナイノデゴザイマス、ツレ故郡ノ聯合杯ト云フコトハ、此分合法案ヲ調査シテナス上ニ於テハ願ミテ居リマセヌ——ツレマデ

○高木正年君(百二十九番) 私モ政府委員ニ御尋シマス、此郡ノ分合法案ガ郡制ヲ布ク上ニ就イテ必要ト云フ所カラ提出ニナツタコトナラバデス、先年分合法案ノ出マシタ時ニ、其中ノ一箇條ニ加ヘラレタモノガ、本年ノ法案ノ中ニハ落チテ居ル所ガアル、ツレハ東京府ノ東多摩郡、南豊島郡ノ合併デアル、何故ニ政府ハ此二郡ノ合併ニ就イテノ法案ヲ提出シナイノデアルカ、大體ノ上ニ關係シテ居ルコトデアルガ、郡制ヲ布ク上ニ於テ、二郡ガ一行政區劃ニナツテ居ルト云フノガ、東京府ニ郡制ガ布カズニアルノハサウ云フ今日ノ理由デス、然ルニ今日ハ分合法案ガ出テ居ルニ拘ラズ東京府ノ東多摩、南豊島ノ合併法案ヲ提出シナイノデアルカ、ドウ云フ譯デアルカト云フコトヲ御尋致シタイ

○久保九兵衛君(八十五番) 此郡廢置法律案ニ、廣島縣ノ賀茂郡ノ阿賀村ヲ安藝郡ニ分合ノコトデゴザイマスガ、私ハ請願委員會デ調査スルコトニナツテ居リマシテ、既ニ此村方カラ請願ト云フモノガ出テ居リマシテ、聞ク所ニ據レバ政府ニモ請願ト云フモノガ出テ居ルサウデゴザイマスガ、政府ハ果シテ此阿賀村ヲ安藝郡ニ分合スルコトノ必要ハナイト云フ御趣意デアツテ此法律案ヲ提出シナイノデアルカ、參考マデニ伺フテ置キタイ

○大島信君(十三番) 私モ政府委員ニ質問ヲ致シタイ、唯今議題トナツテ居リマス中デ、鹿兒島縣下ニ屬シテ居ル彼ノ大島十島ヲ大島郡ニ編入スルコトニナツテ居リマスガ、此十島ヲ大島郡ニ編入シタイト云フ理由ヲ承リタイ、ト申スノハ、元來此川邊郡ノ部分ト大島郡トハ、人情ト云ヒ、又土地ノ習慣ト云ヒ、言語ト云ヒ、全ク異ナツテ居ル處デアツテ、相交レバ全ク言語モ通ジナイト云フ處デアル、然ルニ古來此大島郡トハ交通ノ便モナイカラ全ク交通ト云フモノヲ斷ツタモノデアル、ツレノミナラズ此十島ヲ大島郡ニ編入スルコト云フコトニナリマス、大島郡ノ南ノ端カラ北ノ端マデノ里數ト云フモノハ殆ド三百海里モアル、特ニ大島郡ハ縣下ニ於テ最モ大イナル郡デ、人口モ非常ニ多クアツテ、經濟ノ上カラ郡ノ獨立ガ出來ナイト云フ點カラ大島郡ニ編入スルコト云フコトニナルト、却テ大島郡ノ益ヲ害スルコト云フコトニナツテ、少モ大島郡ニ取ツテハ利益ハナイ、又編入センカラ獨立ヲ妨ゲルト云フコトハ少シモナイ、地形上ヨリ之ヲ考ヘテ見マスと云フト、寧ロ大島郡ニ編入スルヨリハ、熊毛郡又ハ歐謨郡ニ編入スルガ適當デアラウト思ヒマス、然ルニモ拘ラズ大島郡ニ編入スルコトハ實ニ輕卒ナル處分デアツテ、甚ダ不當ナコト、言ハナケレバナラヌ、斯ル法案ヲ出スト云フコト

ハ川邊郡ノ中デ或處ノ如キハ歐謨郡ノ十數里北ニアル、其北ニアル所ノ歐謨郡ヲ越エテ、三百海里モアル大島郡ニ編入スルハ甚ダ不當ト思ヒマスカラ、其理由ヲ伺ヒタイ

(政府委員内務次官松岡康毅君演壇ニ登ル)

○政府委員(松岡康毅君) 段々ノ御質問デ少シ聽落シタカモ知リマセヌガ、サウシタラドウカ御後トデ御願ヒ申シマス、東京府下ノハ先日ノト違フト云フ御問ト存ジマスガ、最初ノ二十三年ノ時ニ出シマシタノト違タコトモゴザイマス、東京府ノ如キハ勿論此度ノトハ違ヒマス、何故ニ東京府ハ東京府デ出サナカッタカト云フ御問デゴザイマスガ、是ハ御承知ノ通、一貫シテ出シテ居リマシテ、二度マデモ通過ヲ得マセヌカッタ、ツレカラ更ニ總テ同一ノ方針ヲ以テ調査シテ居リマシタ、調査ノ出來タ上デ仔細ノナイ所ヲ一々ニスルコトハシナカッタ今、今度……

○高木正年君(百二十九番) 是ハ合併ニ就イテ請願モ出テ居ッテ、少モ苦情ハナイ、政府ハ御調ニナツテ東京府ノハ後レト云フ苦情ハナイト思フテ居ル、寧ロ御忘レニナツタナラバツレデ宜シイガ、若シ合併ノ必要ハナイト云フコトナラ其理由ヲ伺ヒタイ

○政府委員(松岡康毅君) ソコデゴザイマス、段々御尋ガゴザイマシテ、不都合千萬ト云フ御答モゴザイマスガ、ツレノ一々調ベテ理由ガアルノデゴザイマス、ツレデ茲デ一々御答申スニハ、私モ參考書ヲ取寄セテ御答ヲスレバ勿論出來マスガ、餘程皆サンノ御尋ニ對シテ、地圖ニ依ッテ知事ノ意見モアレバ、請願シタ所ノモノモゴザイマス、色々ノモノヲ合セテ此法案ヲ出シテゴザイマスカラ、唯今一ツ二ツ御答スルヤウナコトデハ皆サンノ御満足モ出來マセヌ、又私モ宙デハ覺エテ居リマセヌカラ、如何ナモノデゴザイマセウ、委員會ニ付託ニナツタコトデアリマスカラ、委員會デ御尋下サツタ御答スルコトニ致シマセウ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○深山登皓君(二百三十番) 政府委員ニ尋ネテ置キタイ、衆議院議員選舉ノ事デアアルガ、即チ廢置法案ニ向ツテ甲、乙、丙ノ三郡ヲ一選舉ト云フコトニナツテ居ル、ツレデ假リニ甲ヲ選舉區トスル、乙選舉區ハ四郡ニナツテ居ル、所デ甲郡ノ——甲、乙、丙ノ丙郡ガ甲郡ニ合併スルコトニナル、サウスルト此法案ガ即チ四月一日ヨリ實施スルトスレバ、他日衆議院議員ノ選舉ノ時ニ當ツテハ如何ナルモノニナル、詰リ乙選舉區ハ空文ニナツテ仕舞フ、今ノ甲郡ノ分合ガ、彼法案ヲ實施スルニ於テハ乙郡ニ合併スルコトニナルニ依ッテ、此甲郡ガ所謂甲選舉區ガ最小ナルモノニナル、全ク小サナ選舉區ニナツテシマフ、又之ニ反シテ、乙選舉區ハ大イナルモノニナル、最モ大イナルモ

ノニナル、是等ノ權衡ハドウデアル、此事ニ就イテハ果シテ今ヨリ實施スルコトニナレバ、從テ衆議院議員選舉法ノ選舉區モ改メナケレバナラヌト考ヘマス、是ハ矢張其權衡ヲ取ラナイデ、矢張此選舉區ヲ改メラル、御積リデア

ルカ

考ヘテ居リマス

（政府委員內務次官松岡康毅君演壇ニ登ル）

○政府委員（松岡康毅君） 衆議院議員、府縣會議員ハ郡制ヲ施行致シマシテ

シテ一面積モ其内ニ這入ッテ居リマス

○政府委員（松岡康毅君） 衆議院議員、府縣會議員ハ郡制ヲ施行致シマシテモ、府縣制ヲ施行致シマシテモ、改メラルハ元ノ儘デアルト云フコトハ二十三年ノ八十五號ノ法律ガゴザイマシテ、郡制ヲ布キマシテモ元ノ府縣會議員、衆議院議員デ任期中ハ異動ノナイモノデアルト法律ガ……（深山登峯君「ツレハ任期中ノコト解散デモアッタラ」ト呼フ）矢張同ジコトデ、府縣制ヲ施行スルハ元ノ通デ往ッテ差支ナイノデゴザイマス

○喜多川孝經君（百六番） ドレ位ガ適度ト御認メニナッテ居ルカ、自治體トシテ一面積モ其内ニ這入ッテ居リマス

○深山登峯君（二百三十番） 衆議院議員……

○政府委員（松岡康毅君） 是ハドウモ適度ト申シテ、町村見タヤウニ小サイモノヲ合ハスノト違ヒマシテ、ドウモ是位ニシヤウト云フコトハ出來マセヌデゴザイマス、先刻申シマシタ先ヅ現在郡役所デ以テ統轄シテ居ル所ヲ大抵標準ニ致シマシタ、ソレカラ分合ト云フヲ爲シタ譯ハ、必ズ戸數ガドレ程、人口ガドレ程、租稅高ガドレ程ト云フ見込ハナイノデゴザイマス

○深山登峯君（二百三十番） 衆議院議員モ府縣會議員モ……今ノ甲郡ガ乙郡ニ合併スルカラ甲郡ノ名稱ガナクナル、即チ乙郡ニナル、其時ニ至ッテドウ

○政府委員（松岡康毅君） 今日ハ酒造稅ノ委員會ヲ開カレマスニ依ッテ、該委員長ヨリ退席ノ請求ガアリマス、御承認ヲ請ヒマス

○政府委員（松岡康毅君） 八十五號ノ法律デ出テ居ル人モ、其儘補闕ニナル人モ舊ニ依ルト云フコトガゴザイマス

○議長（楠本正隆君） 六十一ハ御質問モ濟ミマシタ、六十二、委員ノ選舉ハ志波君ノ動議デゴザイマスガ……

○喜多川孝經君（百六番） 一寸私モ質問致シタウゴザイマスガ……

○議長（楠本正隆君） 六十一ハ御質問モ濟ミマシタ、六十二、委員ノ選舉ハ志波君ノ動議デゴザイマスガ……

○議長（楠本正隆君） 質問デスカ——前々カラ段々質問ガアツタケレドモ、政府委員ハ委員會ニ於テ十分述べタイト云フコトヲ斷ハラレテアリマスガ、ソレデハイケマセヌカ

○議長（楠本正隆君） 然ラバ其通ニ決シマス次ハ六十三ニ移リマス

○喜多川孝經君（百六番） 極ク肝要ノ事ト思ヒマスカラ聽イテ置キタイ、一體政府委員ノ見込シテ居ル所ハ、一郡ガ獨立シ得ベキ資力ナリ、人口ナリ、面積ナリ、ドノ位ナレバ極ク適度デアルト云フコトヲ考ヘテ居ラル、カト云フコトヲ聽イテ置キタイ

○議長（楠本正隆君） 然ラバ其通ニ決シマス次ハ六十三ニ移リマス

○志波三九郎君（九十一番） 一寸伺ヒマスガ、日程ノ六十一乃至六十四モ唯今議題ニナッテ居リマスガ

○議長（楠本正隆君） 然ラバ其通ニ決シマス次ハ六十三ニ移リマス

○議長（楠本正隆君） 議長ハ六十二マデヲ以テ議題ト爲スコトヲ宣告致シマタ、而シテ志波三九郎君ノ動議ノ通り六十マデヲ以テ六ツニ分ケテ、各十

○議長（楠本正隆君） 然ラバ其通ニ決シマス次ハ六十三ニ移リマス

八名ノ委員ニ付託スルト云フコトハ既ニ決シマシタ、ソコデ是ハサウ決シタ方ガ好都合ダラウト思ヒマス、六十一ヨリ六十三マデハ矢張郡ノ廢置モアリ

○議長（楠本正隆君） 然ラバ其通ニ決シマス次ハ六十三ニ移リマス

マスガ、境界ニ關シテ居リマスカラ別段ノ委員ニ御付シニナル方ガ大ニ……

○議長（楠本正隆君） 然ラバ其通ニ決シマス次ハ六十三ニ移リマス

○志波三九郎君（九十一番） 六十一ヨリ六十四マデヲ別ノ委員ニ付シタイト

○議長（楠本正隆君） 然ラバ其通ニ決シマス次ハ六十三ニ移リマス

○議長（楠本正隆君） 議長ハ六十二マデヲ以テ議題ト爲スコトヲ宣告致シマタ、而シテ志波三九郎君ノ動議ノ通り六十マデヲ以テ六ツニ分ケテ、各十

○議長（楠本正隆君） 然ラバ其通ニ決シマス次ハ六十三ニ移リマス

第三條 此ノ法律施行ノ爲メ縣ノ財產處分ヲ要スルトキハ關係縣會ノ意見ヲ聞キ其ノ關係縣知事協議ノ上之ヲ定ムヘシ若協議整ハサルトキハ内務大臣ノ裁定ヲ請フヘシ

第四條 衆議院議員及縣會議員ノ選舉及被選舉資格中其ノ年限ニ關スルモノハ此ノ法律ニ依レル縣境界變更ノ爲ニ中斷セラルルコトナシ

第五條 此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

○大津淳一郎君(五十五番) 一寸政府委員ニ質問致シマスガ、郡ノ廢置ヲ斯クマデニスルニハ、行政上ノ便宜カラス様ニ致シタイト云フノデアラウト思フ、既ニ郡ノ廢置ハ行政上ノ利益ヲ圖ルタメニ舊慣ヲ破ツテモ斯ウシタイト云フコトニナレバ、全國ノ多數ノ府縣ノ境界ニ於テモ、隨分行政上ノ便宜ノタメニ變ヘナイデナラヌト云フコトノ出來テ來ルノハ當然ナ話ト思ヒマス、ソレ故ニ六十三ノ日程ノ岡山縣ト兵庫縣、福岡縣ト大分縣ノ境界變ヘナイデナラナイト云フコトハ勿論アルベキ筈ト思ヒマス、然ルニ其理由ヲ見ルト何程ノ六ヶ敷イ理由デアルカト云ヘバ、福岡縣ト大分縣ノ方ハ、川ノ境ニシテ向フヘ附ケタ方ガ交通ガ便利デアルカラ變ヘルノデアル、又岡山縣、兵庫縣ノ境ハ、山ガ隔ッテアルノデ斯ウシタ方ガ交通ガ便利デアルカラスル——左様ナ理由カラ出マシタナラバ、隨分五十バカリノ府縣ノ中ニハ、縣ノ境界變ヘルト云フコトモ斯ウ云フ理由カラ申シマシタラ澤山ナクテハナルマイト思ヒマス、ドウモ行政ノ便宜カラ縣ノ境界變ヘルト云フナラバ、岡山縣ト兵庫縣、大分縣ト福岡縣ト此ニツバカリデナク、其他ニモ同様ノ理由ガアルナラバ、進デ變ヘテ行クノガ行政ノ上ニ於テ御便宜ト思ヒマス、定メテ主務省——内務省デハ各府縣ノ中カラ、斯様ナ事ヨリモソツト強イ理由デ縣ノ境界變ヘテ吳レト云フ申出カ何カアルコト、思ヒマス、此衆議院ニモ請願ガアツタ位デスカラ必ズ出テ居ルト思ヒマス、故ニ進デソレ等モ殘ラズ御變ニナツタ如何デゴザイマセウカ、此ニツノ縣ト縣トノ境バカリニシテ、其他ハ御採用ナク、若クハ御採用ニナルニ就イテ何カノ障リガアルカ、何カ是ニ多少ノ理由ノアルタメニ此ニツシカ今日御提出ニナラナイト思ヒマスガ、其他ノ府縣カラ申出タモノハゴザイマセウカ、アツテモ何カノ都合デ急ニヤルコトガ出來ナイカ、ソレ等ハ縣ト縣トノ境デアルカラ、斯ウ云フ法案ヲ提出スル今日御調ベニナツテ居ルニ相違ナイト私ハ信ジマス、願クハソレ等ヲ明瞭ニ御説明アラレタナラバ、外ノ縣モ此際ニドウカスルト云フ取調ノ上ニ大變便宜ト思ヒマス、ドウガ此事ハ御説明アルヤウニ致シタイ

○政府委員(松岡康毅君) 唯今ノ御問ハ一寸御答シ惡ウゴザイマスガ、固ヨ

リマダ外ニモ請願ガアツタリ、或ハ陳情ヲシタイト申ス類モアルノデゴザイマス、アリマスケレドモ、アルノヲ悉ク出スト云フ譯モゴザイマセズ、不必要ト認メタモノモゴザイマス、又是ハドツチニシタラ宜イカト云フノモゴザイマス、ソレカラ調ノ整ハナイモノモゴザイマス、即チ茨城ト千葉トノ間ノ如キナカノ、ドウモムヅカシイ問題デゴザイマシテ、容易ニ提出スルコトガ出來ナイノデ、サウ云フ類ハマダ外ニモゴザイマスルガ、無論物ニ依リマスレバモウ是ハ出スニ及バヌト云フノモゴザイマス、色々デゴザイマス、ドウモ今一ツレヲ御答スル譯ニモ往キマセヌ

○江島久米雄君(二百四十三番) 政府委員ニ質問致シマス、福岡縣及大分縣ノ境界ノ變更ニ關スル件デゴザイマスガ、此中ニ「福岡縣豐前國上毛郡高濱村大字小祝ノ中山國川支流以東ヲ大分縣豐前國下毛郡仲津町ニ編入ス」トゴザイマスルガ、全體此境界變更ノ事ハ、大字小祝ノ全體ヲ仲津町ニ編入致シテ貫ヒタイト云フノガ地方人民ノ希望デゴザイマス、然ルニ此案ニ依リマスレバ、大字小祝ノ中山國川支流以東ヲ大分縣豐前國仲津町ニ編入ストゴザイマスガ、果シテ此意味ガ能ク通ジマセヌノデゴザイマスルガ、此小祝ノ中支流以東ト云フコトデゴザイマスルト、或ハ此小祝ノ中ノ字ノ向河原ト云フノ一部ヲ仲津町ニ編入スルノデハナイカト云フヤウニ考ヘラレマス、果シテサウデゴザイマスレバ、此地方人民ノ希望ヲ遂グルコト能ハザルノミナラズ、從前其人民ガ仲津町ニ編入ヲ請フト云フノガ、非常ノ從來ノ不便ガアルカラ、ソレヲ醫スルタメノ希望デアル、然ルニ斯ノ如クナリマシタナレバ、其不便ヲ醫スルコトノ出來ナイノミナラズ、從前ニ較ベテ一層甚シキ不便ヲ感ズル、ナゼトナラバ、今日デスラモ其關係ガ高濱村ハ川ノ西ニ在リ、大字小祝ハ東ニ在ル、故ニ川ヲ挾ンデ不便ダト云フタメニ河東ナル仲津町ニ編入ヲ請フノデゴザイマス、然ルニ小祝ノ人家ノアル部分ハ東ニアツテ、其一部ノ字ノ向河原ト云フ處ハ人家モ何モ無イ、所謂河原デアル、其河原ノ一部ダケヲ仲津町ニ附ケタ所ガ何モ小祝ノ人民ノ不便ヲ醫スルト云フコトハ出來ナイノデアル、ノミナラズ、一部ヲ附ケマシタナラバ、稅ヲ納メルコトハ仲津町ニ納メテ、居民ハ矢張高濱村ニ籍ヲ置カナケレバナラヌト云フヤウナ不便ガアルノデゴザイマス、斯クテハ編入致ス所ノ利益ハ少モ無イヤウデゴザイマスガ、蓋シ此案ノ趣意ハ尙ホ小祝ノ全體大字小祝ヲ仲津町ニ編入スルト云フ趣意デゴザイマスガ、若クハ小祝ノ中ノ字ノ一部ヲ仲津町ニ編入スルト云フ趣意デゴザイマスガ、此段ヲ御尋致シマス

○政府委員(松岡康毅君) 是ハ案ニ書イテゴザイマス通り、川ノ東西ト申ス側デ別ケタノデゴザイマスガ、委シイ所ハ先刻申シマスヤウニ、圖面ナリ色

色其意見書採モ據タモノガゴザイマスカラ、委員會ノ所デ御答ヲ致シタウゴザイマス

○議長(楠本正隆君) 第六十四、委員ノ選舉ノ事ニ移リマス

第六十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○大津淳一郎君(五十五番) 六十一ノ委員ニ付託スルト云フコトハ是ハ惡ルイノゴザイマス、六十一ハ前ノ一カヲト同様ナル一縣内ノ郡廢置其タメニ國ノ境ガ變ルト云フノ種類デゴザイマセヌカラ六十一マデハ皆同一デアリマスガ、唯六十三ト云フノハ郡制ヲ布タニモ何ニモ關係ノナイ別ノ縣ノ境ヲ別ケルト云フノデアリマスカラ、一カラ乃至六十二マデ潰レテモ、六十三ノモノハ別種ノモノデアレバヤラナケレバナラヌモノデスカラ、是ダケハ特ニ九名ノ委員ヲ選舉シナケレバナラヌ、品物ガ違フノデスカラ、是ハ別ニ議長指名ノ九名ノ委員ヲ置キタイト思ヒマス

○議長(楠本正隆君) 六十一ハ特別委員ニ付スルコトニ決シテ居リマス、其委員ニ付スルト云フ……

○大津淳一郎君(五十五番) イヤ、別ニ全ク別種ノ委員ヲ九名選舉シタイト云フノデス

○議長(楠本正隆君) 君サウスルト六十一ト六十三、此ニツハ九名ノ委員ニ付スルト云フ御意見ニナリマスカ、六十一ハ既ニ委員ニ付スルコトニ決シマシタデゴザイマス

○大津淳一郎君(五十五番) 私ノ考ヘハ、六十一ハ矢張種類ガ同ジモノデスカラ前ノ委員ニ付託シテモ宜シイガ、第六十三ダケハ單獨ニ九名ノ委員ヲ置イテ、縣域變更ダケノコトヲ付託シタイ

○議長(楠本正隆君) 六十一ハ既ニ特別ノ委員ニ付スルコトニ決シタ、共同一委員ニ付スルコトニ志波君ガ動議ヲ提出シテゴザイマス

○大津淳一郎君(五十五番) ツレニ反對デアリマス、六十三ハ別ノ委員ニ付託シタイト云フノデアリマス

○議長(楠本正隆君) サウ致シマスルト、特別委員ガ二ツニナリマスカ

○吉本榮吉君(八十二番) 特別委員ハ今言ハレタ通ニナツテモ宜シイガ、私ガ、委員ニ就イテ申シテ置キタイコトハ、今日ハ大變ニ委員ノ數ガ澤山ニナリマシテ、曩ニ志波君ノ提出デ百零八人、ツレニ九名足シテ百十七人、今又九名増スト百二十六人トナリマス、カウ澤山ノ人數ニ長イコト掛カラレテハ差支ガ起リマス、又期日モ追ッテ來マシタカラ、昨日モ申上ゲタ通、一週間中ニ皆調べ上ゲテ貰フコトニ議決ヲシテ置キタウゴザイマス(「ノウ、」ト呼フ者アリ)ノウト言ハレマスガ、何モ別ニ暇取ルコトハアリマセヌ、何レ其

土地ノ者ガ委員ニナルヤウナ都合ニナラウト思ヒマス、サウシマスルト一日デモ調査ガ出來得ベキモノデアル、ツレヲ長イ時日ヲ要スルト云フノハ唯シタ、カニ云フノデ、其土地ノ事ヲ其土地ノ者ガ知ラナイト云フコトハアリマセヌカラ、決シテ一週間内ニ出來ナイト云フコトハナイト思ヒマスカラ、諸君モ何レ當議會ニ於テ貴族院ヲ通過シテ、郡制ノ施行上ニ差支ナイヤウニト思召シタナラバ必ラズ異議ガナカラウト思ヒマスカラ、一言申シテ置キマス

○議長(楠本正隆君) 大津淳一郎君ガ更ニ九名ノ委員ヲ選ムト云フ意見ニ付テ、決議ヲ採リマスル、大津淳一郎君ノ委員說ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(楠本正隆君) 少數、次キハ志波三九郎君ノ第六十一ト同様ノ委員ニ付託スルト云フコトニハ御異議ナシト認メマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 次ハ日程ノ第六十五、府縣農事試驗場國庫補助ノ法案第一讀會、朗讀ヲ省キマス、——安田益太郎君

第六十五 府縣農事試驗場國庫補助法案 第一讀會

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

府縣農事試驗場國庫補助法

第一條 府縣農事試驗場ノ事業ヲ獎勵確實ナラシムル爲國庫ハ毎年度金十

五萬圓ヲ支出シテ其ノ費用ヲ補助スヘシ

第二條 農商務大臣定ムル所ノ府縣農事試驗場規定ニ依リ農商務大臣ノ認

可ヲ經タル府縣農事試驗場ニシテ農商務大臣必要ト認メタルトキハ其ノ

試驗場ニ補助金ヲ交付スヘシ

第三條 各試驗場ニ交付スル補助金ハ其ノ設立者ノ負擔額ト同額以內ニ限

ル

第四條 此ノ法律ニ依リ補助ヲ受クル試驗場ノ設立者ハ補助年期間其ノ試

驗場經費ヲ繼續支出スルノ義務アルモノトス

第五條 各試驗場ニ補助金ヲ交付スルハ五箇年ヲ以テ一期トス滿期ノ後必

要ニ依リ尙ホ之ヲ繼續スルコトヲ得

但シ農商務大臣ニ於テ試驗場ノ管理不適當ナリト認メタルトキ又ハ府

縣農事試驗場規程ニ違背シタルトキ又ハ第四條ノ義務ヲ盡スコト能ハ

サルトキハ補助年期間ト雖モ其ノ補助ヲ廢シ若ハ停止スルコトヲ得

第六條 農商務大臣ハ此ノ法律ニ依リ府縣農事試驗場ニ補助金ヲ交付スル

第七條 此ノ法律施行ノ爲ニ必要ナル規則ハ農商務大臣之ヲ定ム
第八條 此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

(安田益太郎君演壇ニ登ル)

○安田益太郎君(二百四十五番) 私共府縣農事試驗場國庫補助法案ヲ提出致シマシテ理由ヲ極ク簡單ニ述べマス、諸君モ御承知ノ通り、農事ノ改良ヲシマスルニハ必ズ試驗場が必要デゴザイマス、又試驗場農事ノ改良ニハ利益ノアルモノハナカラウト私共ハ信ジマス、然ルニ我國ニ於キマシテハ、試驗場ノ數ガ誠ニ少數デアリマス、故ニ試驗ノ好成績ノモノト雖モ、全國ニ普及スルコトノ容易ナラザル事ハ、實ニ農業者ノタメニ私共ハ遺憾ト思ヒマス、又甲ノ試驗場ニ於キマシテ好成績ノモノト雖モ、乙ノ試驗場ニ適セヌコトガアリ、乙ノ試驗場ニ於テ好成績ノモノト雖モ、丙ノ試驗場ニ於テ適セヌコトガアリマス、何トナレバ氣候ヲ異ニシマスルト、地質ヲ異ニスル所以デアリマス、故ニ私共ハ各府縣ニ一箇所若クハ二箇所ノ試驗場ヲ設ケマシテ、農事ノ改良ヲ圖ツタナラバ必ズ其效果ヲ奏スルコトデアラウト存ジマス、私共ハ信ジテ疑ヒマセヌ、萬一改良ノ目的ヲ達シナイ、其效果ヲ奏スルコトガ出來マセナンデモ、試驗場ヲ各府縣ニ置キマシタナラバ、必ズ其土地ノ農家ハ此業ニ精勵ヲ致シマス、果シテサウナリマシタラ、米ヲ作リマスニハ、田一段歩ニ就イテ二斗位ノ增收獲ヲ得ルコトハ私共往々是マデ其例ヲ見マス、十分經驗ガアリマス、之ヲ全國ノ田段別二十八万町ニ積算セバ、即チ五百六十万石ト云フ增收獲ヲ得ルコトニナリマス、斯ノ如ク大ナル利益アルヲ以テ、本員ハ試驗場ハ國庫補助ノ必要ヲ認メマシテ茲ニ此案ヲ提出致シマシタノデアリマス、諸君幸ニ御賛成アラシコトヲ希望致シマス、詳細ノ事ハ御尋ガアツタナラバ御答スルコトニ致シマス

○小畑岩次郎君(二百三十二番) 提出者ニ質問致シマスガ、此第一條二十五万圓支出シテ其費用ヲ補助スルトアリマスガ、是ハドウ云フ算出ニナツデアリマスカ、假ニ云ヒマスト概算四十四府縣アルト見テ、或ハ三千圓宛デアルト云フヤウナ考デアリマスガ、其十五萬圓ガ出タ所ヲ一ツ聽キタイ、ソレカラモウ一ツハ、現今ノ農事試驗場ト云フモノハ、京都或ハ兵庫縣ノ如キハ重モナルモノデゴザリマシテ、其他ノ府縣ニ於テハ是ト云フテ取ルベキヤウナ試驗場ハ餘リゴザリマセヌ、之ヲ拵ヘサセルト、所謂獎勵ヲスルノ趣意カラ此案ガ出タノデアラウト思ヒマスガ、京都或ハ兵庫縣ノ如キ試驗場ヲ拵ヘヤウト云フナラバ、此試驗場ニハ餘程國庫カラ補助マデモシヤウト云フニハ、農商務省ガ、此案ニアル如ク、大臣ガ規程ヲ定メテ、相當ノモノデナケレバ補助ガ出來ヌト云フコトニナルデアラウ、果シテハウナリマシタナラバ、今日ノ農事試驗ト云フモノハ、從來唱ヘ來マシタ所ノ林遠里或ハ中村直藏ノ農事

改良ノ如キハ、十年以前カラ社會ニ喋々唱ヘ來ツタモノデ、最早各府縣ニ知ラス者ハナイ位デゴザイマス、或ハ地方ノ議會ヲ以テソレノ施行シテ居ルノデアアル、要スルニ此案ハ試驗ト云フ上ニ於テハ、獨リ實業家ノ經驗ノ上ノ試驗デナクシテ、學理ヲ應用シ、或ハ地質ト植物、其地方ノ氣候等ヲ參酌シテ、專ラ學理ヲ應用スルノ試驗場ヲ設ケラレタイト云フ趣意デアラウカト推測致シマスガ、果シテ此第一條ノ十五萬圓デ各府縣ニ行ハセルノ趣意ナラバ、學理ヲ應用シテ試驗場ヲ拵ヘルニハ、少ナクトモ農學士ノ一人宛位ハ、各府縣ノ試驗場ニ一人宛ハ要スルダラウト思ヒマス、シテ見マスルト現今國庫ガ施行シテ居リマス農事試驗場ノ如キハ、僅カニ七箇所カソコラニ止ルモノデゴザリマスガ、是スラ擴張シテヤラウト云フコトガ未ダ國庫ガヤルマデニ行届イテ居ラス、又其人ヲ得ルニモ乏シイノデアアル、況ンヤ四十四ノ各府縣ニ試驗場ヲ拵ヘテ、農學士ヲヤラウト云フニハ、差當リ農學士ト云フモノハ試驗場ヲ拵ヘヤウト思ヒマスカラ、第一條ノ如キハ斯クマデ各府縣ニ拵ヘヤウトコトガアラウト思ヒマス、第一條ノ如キハ斯クマデ各府縣ニ拵ヘヤウト云フノ趣意デナクシテ、現今京都府或ハ兵庫縣ノ如ク、或ハ全國二十箇所乃至十五箇所位拵ヘルガ必要デアルト云フノ趣意デアルカ、果シテサウナラバ若シ假ニ二十九年度ニ此十五萬圓ヲ支出スルト見タ時分ニハ、一箇所二箇所ノ處ニ十萬圓モ要スルヤウナ試驗場ヲ拵ヘタ時ニハ、五萬圓ヲソレニ補助シテ宜イト云フノ趣意デアルカ、或ハ一箇所ニハ今申上ケタ通、凡ソ三千圓ヲ限り、其位ノ程度ヲ以テ補助スルト云フ趣意デアルカ、ソレヲ聽キタイ、モウ一ツ蠶業ノ試驗場ト云フコトガゴザリマスガ、此蠶業ノ上ニ就キマシテハ、我國ニ於テハ極寒冷ナル北海道ヨリ起ツテ九州、沖繩縣——暖國ノ沖繩縣マデモ通ジテ、蠶業ト云フモノハ到ル所出來ルト云フコトハ明カナコトデゴザリマスケレドモ、未ダ未開ノ地ニ於テハ之ヲ獎勵スルト云フ必要ガアル、其獎勵ト云フモノハ傳習所ヲ設ケテ、蠶業ヲ獎勵スルニハ傳習スル必要ガゴザリマスガ、試驗ト云フ上ニ於テハ私共ノ考ヘルニハ、蠶業ノ試驗ト云フノハ餘程込入ツタコトデ、伊太利トカ佛蘭西ニ於テ、愛蘭杯ガ折角ヤツテ居ル如ク、我が農商務省ガ目下試驗シテ居ルノハ、專ラ學理上ニ於テノ試驗デアル、學理ノ上ニ於テハ試驗ガ今日蠶業ノ上ニ於テ必要ガアルノデ、各府縣ノ蠶業ヲ試驗スルト云フコトハ是ハ餘リ私共ノ耳ニ於テハ感シヌ——私共ノ耳ニ於テハ感ゼヌ、果シテ農商務省ガヤツテ居ルヤウナ學理上ノ試驗ヲ要スルト各府縣ニ云フナラバ、是以テ試驗ヲスル其人ト云フモノガ誠ニ乏シイ、恐クハ私ハゴザイマスマイト思フ、蠶業講習所ヲ昨年此帝國議會ガ政府ヘ建議ヲシマシテ、政府ガ本年案ヲ出シタニ、東京ト京都ト二箇所ニ置クガ宜シイト云フコトヲ昨年モ云ツテ置キマシタニ、東京ヨリ設ケナイ、其設ケナイニ

ハ財源所謂政費ト云フ上ニ於テ虞レガアルト云フコト、モウ一ツニハ其人ニ乏シイト云フコトモ聽イテ居ル、政府ガ二箇所ヲ設ケルニスラ人ニ乏シイノニ、各府縣ニ試驗場ヲ拵ヘタナラバ補助ヲシテヤルト云フノハ、是ハ云フベクシテ行レナイヤウニ思ハレル、其邊ハ提出者ハ如何ナル考ヲ以テ此案ガ出マシタカ、一應聽イテ置キタウゴザイマス

○安田益太郎君(二百四十五番) 御答致シマス、此十五萬圓ト出シマシタノハ、全ク吾々ノ考ヘデハ、凡ソ一箇所ニ六千圓地方稅ヲ費ス試驗場ナラバ三千圓ナニスル、五千圓ヨリ費サヌ試驗場ニハ出サヌト云フ考、或ハ八千圓費スヤウナ試驗場ガ出來テ來ルト則チ四千圓補助スルト云フ考デ十五萬圓トシタモノデアッテ、キチリト算盤ヲ以テ當ルコトハシマセヌ、ソレカラ農學士ガ試驗場ガ出來タラ足ラヌト云フ案シガアリマシタガ、決シテ各府縣ニ一箇所若クハ二箇所ノ試驗場ガ出來テモ農學士ニ不足ハ生シマセヌ、ソレハ農學校ニ往テ御尋ニナッタラ能ク分リマス、ソレカラ又府縣蠶業試驗場、是ハ各府縣ニ必ズ蠶業試驗場ヲ置クト云フ譯デハアリマセヌ、府縣ノ中ニモ蠶業ノ盛ナ處ヘ試驗場ヲ置クト云フ、則チ矢張り六千圓程ノ地方稅ヲ以テ試驗場ヲ置クト云ヘバ、即チ三千圓ヲ補助スルト云フ意カラ第六條ヲ掲ゲタノデゴザイマス、ドウゾ左様御承知アラシコトヲ望ミマス

○工藤行幹君(百十番) 私ハ反對ノ演說ヲ致シマス

○議長(楠本正隆君) 通告ガアリマス、兩名ノ反對ノ通告ガアリマス

○荊塚省三君(百十三番) 此第六條府縣蠶業試驗場ニ就イテハ、補助金ヲ交付スルト云フ明文ガゴザイマスガ、此蠶業ト共ニ我邦ニ於テモ生産ノ主要ヲ占メ、又外國貿易上ニ於キマシテモ、第一二ノ場所ヲ占メテ居リマス所ノ彼ノ茶業ノ如キモノニ至ッテハ、補助金ナドヲ交付スルト云フコトハ見エデ居ラナイヤウデアリマスガ、是ハ如何ナ理由ガアルノデゴザイマスガ、自然ハ御心付キデモナイノデアリマスガ、又ハ如何カ此茶業ノ方ニハ補助金ヲ交付サレナイト云フノ理由ガアルノデアリマスガ、提出者ニ於キマシテモ御存シデアリマセウガ、近年此加奈陀ニ於キマシテハ、外國貿易上最モ好景氣ヲ現シテ實ニ類々ト取引キモゴザイマス、故ニ各府縣ニ於キマシテモ、追々ニ茶業傳習所、或ハ茶業試驗場ノ如キモノヲ設ケテ獎勵ヲ致シ、或ハ改良ヲシテ居ルノデゴザイマス、ソレデ我縣杯ニ於キマシテモ、地方稅ヲ以テ此三四年ノ處一二箇所茶業傳習所ナドヲ立テ、獎勵シツ、改良ヲシツ、アルノデゴザイマスガ、固ヨリ此六條ニ據ッテ見マスレバ試驗場トゴザイマス、固ヨリ吾等ノ處ノ茶ニ就イテ立テ、致シマスル所ノ名ハ傳習所デゴザイマス、名コソ異ナリマスレドモ、其内部ノ仕事ニ至リマシテハ、決シテ試驗ト申シマシテモ、傳習ト申シマシテモ、其手續ハ違フマイト思ヒマスガ

ラ、之ヲ御尋シテ置キマス

○安田益太郎君(二百四十五番) 御答致シマス、私ノ是ニ向ケテ茶ノ事ヲ加ヘ置キマセナンドノハ、全ク茶ヲ造ルコトノ試驗場ヲ設ケルト言ヘバ、即チ農業ノ中ニ加ヘマスガ茶ヲ製スル方デアリマスカラ、則チ製茶ノ方ニ農業カラ同ジ試驗場デ補助ヲスルト云フノハ、少シ法ニ當ルマイト云フ考ヘカラ止メタノデス、茶ヲ作ル方ナレバ或ハ此試驗場ノ中ニ加ヘマスケレドモ、茶ヲ製スル方デアリマスカラ、茶ヲ製スル方ニ補助ヲスレバ、又絲ヲ製スル方ニ補助ヲセンナラヌト云フコトニナリマスルカラ、製茶製絲ト云フコトハ農業ノ試驗場ニ加ヘヌト云フ考デ載セ置カヌノデアリマスカラ、ドウゾ左様

(議長々々)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 通告ガゴザイマス、反對ノ通告ガ兩名アリマス

○多田作兵衛君(二百二十五番) 私ハ議長指名デ九名ノ委員ニ付託ヲシテ調査ヲシタイ、反對ノ御方ハ其時ヲ待ッテ御駁撃ヲ爲サレバソレデ宜カラウト思フ

(賛成々々)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 二百二十五番ヨリ委員ニ付託スル動議ガ出マシタ、先決問題デゴザイマス、議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルト云フコトニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數ト認メマス、次ハ日程ノ第六十六、領事館設置ニ關スル建議案、朗讀ヲ省キマスル、山下千代雄君

第六十六

我帝國領事館ヲ暹羅國ニ設置スル建議案(山下千代雄君外四名提出)

(左ノ建議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

明治二十年一月我帝國ハ暹羅國トノ親交條約ヲ宣布シ其ノ文中兩國政府ハ其ノ臣民ヲ保護シ公使領事ヲ置クヲ得ル云々トアルモ未タ完全ナル通商條約ヲ締結セス從テ未タ公使領事ヲ置クニ至ラス近時我國民ノ暹羅國ニ渡航移住スル者漸ク其ノ數ヲ増シ各自職業ニ從來スルモ未タ以テ生命財產ヲ安托スルノ機關備ハラス我在留人民ノ之ヲ渴望スルヤ久シ會日清戰爭ノ起ルヤ我帝國ハ在留人民ノ保護ヲ佛國公使ニ依頼シ以テ今日ニ及ヘリ歐米各國ハ大抵暹羅國ニ公使領事ヲ派遣セサルハ莫シ我帝國ト完全ナル通商條約ノ締結ハ固ヨリ急務ナリト雖モ尙ホ焉ヨリモ急務ナルハ領事館ノ設置ナリ政府ハ速ニ領事ヲ派遣シ以テ在留人民ヲ保護スルノ道ヲ全フセンコトヲ望ム因テ之ヲ建議ス

(山下千代雄君演壇ニ登ル)

○山下千代雄君(二十六番) 私ハ本案提出者ノ一人デゴザイマスルカラ、提

出ノ理由ヲ聊説明致サウト考ヘルノデゴザイマス、ソレデ本案ヲ説明致シマスルニハ、成ルベクタケ簡單ニヤリタイノデアリマスルケレドモ、此暹羅國ト日本トノ關係上ニ就イテ、諸君ハ特ニ御調ニナッテ居リマセウケレドモ、併ナガラ其關係ノ大略ヲ此議場ニ於テ説明致シマセト、本案ニ就イテ諸君ノ御贊同ヲ得ルニモ甚ダ不十分ト考ヘマスルカラシテ、成ルベク簡單ニ關係如何ト云フコトニ就イテ説明ヲ致ス考ヘデゴザイマス、デ、歐羅巴諸強國ノ東洋政策ハ夙ニ吾ミヲシテ憂慮ニ堪エザラシムル所ノモノデアリマス、而シテ日清ノ戰爭以來、其結果トシテ、彼ノ支那國ハ甚ダ與シ易キ國デアッテ、サウシテ日本ノ侮ルベカラズト云フ明ニ證明シタノデゴザイマス、ソレ故ニ彼ノ諸強國ノ意思ト云フモノハ、期セズシテ此日本ヲ抑ヘ、又彼ノ支那國ヲ征略スルト云フ方針ニ向ヒツ、アルト云フコトハ掩フベカラザル事蹟ト考ヘルノデゴザイマス、而シテ諸強國ガ其東洋政策ヲ遂グルニ就キマシテハ、其足溜リトスル所ノ必要ナル土地ト云フモノヲ、此亞細亞洲中ヨリ得マシテ、サウシテ之ヲ根據トシテ其志ヲ逞ウスルト云フコトハ、彼ノ政策トシテハ最も必要ナルデアルノデゴザイマス、即チ彼ノ露國ノ朝鮮ニ於ケル、或ハ佛蘭西ノ暹羅ニ於ケルガ如キモノハ、即チ英吉利ノ印度、或ハ香港ニ於ケルガ如キニ倣ハント欲スルニ外ナラズト私ハ考ヘルノデゴザイマス、斯様ナル形勢ノ危急切迫ナルニ當リマシテ、彼ノ清國ト云ヒ、朝鮮ト云ヒ、暹羅國ト云ヒ、皆我日本トハ所謂唇齒輔車ノ關係アルモノデゴザイマス、ソレ故ニ是等ノ國ニ對シマシテ其文明ヲ啓發シ、獨立ヲ扶植シ、而シテ彼ノ白哲人種ヲシテ其志ヲ逞ウセザラシムルト云フコトハ、則チ我日本國ノ任務アルト私ハ信ズルノデゴザイマス、我日本國ガ此大ナル任務ヲ盡シ、而シテ大義ヲ天下ニ伸ベント致シマスルニ就キマシテハ、内ハ速ニ立憲政治ヲ完備ナルコトヲ期シ、速ニ軍備ノ整頓ヲ遂ゲ、又産業等、即チ所謂國力ニ關スル事業ニ就イテ、速ニ之ヲ充實スルコトヲ努メナケレバナラヌノデゴザイマス、而シテ外ニ對シマシテハ國力ノ許ス限リニ於テ外交ノ地歩ヲ進メマシテ、彼ノ貿易、彼ノ移住殖民ノ事業ノ如キモノハ、務メテ之ヲ獎勵保護シテ、是ガ著々實行ニ至ランコトヲ期セシケレバナラヌノデゴザイマス、即チ本案暹羅國ニ領事館ヲ設置スルコトノ必要ナルモノデアルト云フモノハ、所謂我日本帝國ノ任務ヲ盡シマスル所ノ階梯トシテノ重ナルモノ、一ツデアラウト云フノ考ヘデゴザイマス、暹羅ト日本トノ關係ニ就イテ其大體ヲ説明シマスルニ就イテハ、第一外交ニ就イテ、第二貿易ニ就イテ、第三移民ニ就イテ、其關係如何ヲ簡單ニ説明スルヤウニ私ハ致ス考ヘデゴザイマス、諸君、諸君ガ彼ノ暹羅ト云フ國ヲ想像セラルルト同時ニ、彼ノ暹羅ナル國ハ我新領地ノ臺灣ト甚ダ遠カラザル距離ヲ持ッテ居リマシテ、而シテ東部亞細亞洲ノ一獨立王國デアルト云フコトヲ御想像

ナサルデアラウト考ヘマス、又之ト同時ニ二百六十七年前ニ、彼ノ山田長政ナル人ガ孤劍浮浪ノ徒ヨリシテ、彼ノ暹羅國ノ高僧ニ上ボリマシテ、其當時ハ二千餘人ノ日本人ガ彼ノ暹羅國ニ移住致シマシテ、頗ル勢力ヲ持ッテ居リマシテ、今仍ホ其子孫ガ存在シテアルト云フコトヲ御想像ニナルデアラウト思ヒマスル、從ッテ古來ヨリ彼ノ國ト我日本トノ關係ノ深イト云フコトニ就イテモ、諸君ガ御分リニナルデアラウト思ヒマス、然ルニ此偉人山田ナル人ガ去リマシテ以來、幕府ノ鎖國主義ノタメニ、明治二十年山田安太郎ト云フ人ガ彼ノ地ニ渡航致シマスルマデハ、殆ド日本人ノ跡ヲ絶ッタノデゴザイマス、然ルニ土佐ノ人デゴザイマシテ、岩本千綱ト云フ人ガ大ニ彼ノ國ニ見ル所ガアリマシテ、サウシテ彼ノ國ニ渡航ヲ致シマシテ、當路ノ大臣、皇族、華族、其他朝野ノ有力者ニ結託ヲ致シマシテ、刻苦經營致シマシタル結果トシテ、昨年即チ二十八年ニ至リマスルマデ、日本國人ノ彼ノ國ニ移住スル者ガ既ニ八十餘人ノ多キニ達シタノデゴザイマス、然ルニ日、暹ノ兩國ノ交際ト云フモノハ、去ル明治二十年ノ一月ニ修交條約ガ結バレテアリマス、實際ト云フモノハ、完全ナル通商條約ト云フモノガ結ンデナイノデゴザイマス、又修交條約中ニハ公使領事館ヲ置クコトガ出來ルト云フコトノ明文ガアリマス、而ハラズ、未ダ我日本ノ領事館ト云フモノガ設置シテナイノデゴザイマス、而シテ彼ノ國ノ法律ハ誠ニ不完全デゴザイマスカラシテ、日本國人ニシテ彼ノ國ニ移住致シマスル人々ハ、其生命財產ト云フモノ、保護ヲ託スルニ十分デアルノデゴザイマス、既ニ領事館モナク、彼ノ國ノ法律ガ我生命財產ヲ託スルニ足ラズト致シマスレバ、他ニ歐米諸國中デ少ナクモ我日本國人ノ不利益ニナラヌ丈ノ國ニ、其保護ト云フモノヲ託スルガ必要ニナタノデゴザイマス、ソレ故ニ彼ノ岩本氏ヲ始メ——岩本氏ガ昨年四月頃歸朝致シマシタ後ハ、石橋某ナル人ガ日本移住ノ人々ヲ統率致シマシテ、サウシテ彼ノ保護委託事件ニ就イテ頗ル斡旋盡力致シタノデゴザイマス、ソレデ此保護ヲ委託致シマスルニ就キマシテハ、歐米ノ各國中ノ公使ニ就イテ適當ナルモノヲ選マナケレバナラヌ、彼ノ國ノ政府ノ人達、又日本ノ移住民全部ガ、彼ノ濃厚篤實ノ評判ノ波蘭國ノ公使ニ此保護ヲ委託スルコトニ話ガ纏ッタノデゴザイマス、波蘭公使モ此保護ヲ引受ケルト云フコトニ就イテ甘諾ヲ致シマシタノデゴザイマス、其手續ヲ執行スルニ際シテ、佛蘭西ノ前公使ばーびんと云フ人ガ其移民ノ保護ヲ蘭國ノ公使ニ託スルト云フコトヲ知ッタノデゴザイマス、之ヲ知ルト同時ニ佛蘭西本國ノ外務省、及日本駐劄ノ佛蘭西公使ニ向ッテ、此保護事件ニ就イテ電信ノ往復ヲ致シタノガ、其電信料ガ殆ド千弗以上ニ上ボッタト云フコトデアアルノデゴザイマス、而シテ彼國ニ於キマシテハ、公使自ラ石橋某等ヲ喚ビマシテ、招キマシテ、自分ノ保護

ヲ受ケルガ宜シト云フコトヲ百方勸誘致シタノデゴザリマス、然ルニ彼ノ佛蘭西ハ遼東半島ノ還付事件ニ就キマシテ、以來我日本國ノ國民ノ感情ヲ害シテ居ル所ノモノデアル、即チ暹羅領ニ於ケル日本人ニ致シマシテモ、佛蘭西ノ公使ノ保護ヲ受ケルコトヲ屑シトシナイ、ツレ故ニ之ヲ以テ其勸誘ヲ拒ンダノデゴザリマス、然ルニ其後間モナクシテ佛蘭西ノ公使ニ日本人ノ保護ヲ委託スルト云フハ、日本外務大臣ノ臨時大臣ノ正式ノ書面ヲ石橋等ガ示サレタノデゴザリマス、事此ニ至ッテハ最早如何トスルコトガ出來ナイノデ、即チ佛蘭西公使ノ保護ヲ受ケルコトヲ手續ヲ致シタノデゴザリマス、デ、彼ノ國人ガ日本トハ古キ關係モアリ、緣故モアリ、而シテ日本人ニ對シテノ感情ト云フモノハ、實ニ日本ハ亞細亞洲中ノ東部ニアル所ノ國デアッテ、即チ互ニ交ヲ親ウシテ、互ニ助ケンケレバナラヌト云フノ考ト、サウシテ日本人ノ義俠心、又其濃厚篤實ノ行ト云フモノヲ、從來ニ甚ダ賞美シ來タノデゴザリマス、而シテ二十七八年ノ日清戰爭以來、從來ノ親愛ノ心ト云フモノハ一層進ンデ、即チ尊重畏敬ノ心トナッテ我暹羅國ノ獨立ト云フモノヲ永遠ニ保タントスルナラバ、須ラク此日本國ヲ師兄トシ、而シテ是ニ倣テ我國ノ獨立ト云フモノヲ保タンケレバナラヌト云フ迄ニ、暹羅國ノ民人一般ノ心ト云フモノガ定ッテ來リツ、アル所デアッタノデゴザリマス、然ルニ佛蘭西國ニ對スル暹羅國人ノ感情如何、其感情如何ト云フモノヲ簡單ニ御話致シマスルト、實ニ彼國ニ於ケル歐羅巴人ノ跳梁跋扈ト云フモノハ日ニ月ニ甚シクナリマシテ、殊ニ明治二十六年十月暹佛ノ戰爭ノ結果トシテ、彼ノ諸君モ御承知ノ如ク河以東ノ土地、即チ彼國ノ四分ノ一ノ土地ト云フモノヲ佛蘭西ノ民ニ強奪セラレタト云フ事實ガアルノデゴザリマス、而シテ佛人佛蘭西人ノ氣既ニ暹羅國ヲ吞ンデ居ル、即チ昨年舊公使バビン氏ニ代ッテ、新公使ノどふらん氏ト云フ人ガ來ッタ時分ニ、此人ハ專ラ武斷ヲ以テ主トスル所ノ人デアリマシテ、前公使ノ如キ老練著實ノモノデハナイ、即チ暹羅國ニ著任致シタ其翌日ヨリシテ、示威運動ヲ始メタノデゴザリマス、而シテ佛蘭西人ノ彼地ニ在ル者ガ、揚々トシテ得意ニ申シマスルニハ、已ニ馬島ノ遠征ガ終局シテアル、是カラハ暹羅ニ盡サンケレバナラヌト云フコトヲ揚言スルノデアリマシテ斯ル有様デアリマスルカラシテ、彼國ノ佛蘭西ニ對スルノ感情ト云フモノハ推シテ知ルベキノデゴザリマス、ツレ故ニ佛蘭西ニ對スル彼國ノ人民ノ感情ノ惡シキ程、即チ日本ニ對シテハ日本ヲ師兄トシテ、其獨立ヲ保タンケレバナラヌト云フノ感情ヲ持ッテ居ルノデアリマスルカラ、益々感情ト云フモノハ善クナランケレバナラヌ、然ルニ日本國民ノ保護ト云フモノハ佛蘭西公使ニ委託サレタノデゴザリマス、デ、佛蘭西公使ガ斯ノ如ク十分ノ謀ヲ盡シテ、サウシテ日本國人ヲ自分ノ保護ノ下ニ置イタト

云フモノハ何デアリマセウカ、即チ暹羅國人ノ感情ノ宜シキ日本國人ヲ自分ノ楯ニシテ置イテ、サウシテ暹羅ノ民心ヲ籠絡シヤウト斯ウ云フノ考、一ハイザ佛蘭西ノ——佛蘭西人ガ暹羅國ニ向ッテ大イニ爲ス所アラントスルノ場合ニ至ッタナラバ、彼ノ義勇ナル日本國人ハ義ニ赴イテ暹羅國ヲ助ケルト云フコトヲ大變ニ恐レテ居ル、之ヲ壓服スルニハ即チ自分ノ保護ノ下ニ置クト云フコトガ必要デアアル、斯ウ云フ二ツノ考カラシテ、實ニ老練ナル前佛蘭西公使ノ非常ナル運動ヲ以テ、日本國人ヲ自分ノ保護ノ下ニ置イタノデゴザリマス、此結果トシテ暹羅國ガ日本國民ニ對スル感情如何ト云フコトハ、諸君モ之ヲ御推知ニナルダラウト考ヘルノデゴザリマス、デ、即チ是ガ外交上ノ關係トシテ、速ニ日本領事館ト云フモノヲ彼國ニ置キマシテ、サウシテ日本人ノ保護ヲ彼ノ佛蘭西公使ノ下ヨリ回復スルト云フコトハ、最も必要ナル所以ノ一ツデゴザリマス、又第二ニ貿易上ノ關係ヲ簡單ニ申シマスレバ、彼國即チ暹羅ヨリ日本ニ輸入スル重ナル物品ハ米デゴザリマス、米ハ彼國第一ノ國產デ、サウシテ我國ノ外國米中ノ最も多イ所ノモノデアアルノデス、現ニ一昨二十七年年度暹羅國ノ輸出總額金三千四百萬圓ノ内、米穀ハ二千萬圓ニ上ボッテ居ルノデゴザリマス、又軍艦用ノちいさき、是ハ緬甸、暹羅此二國ガ世界中デ（此時「簡單ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ「長イト人ガ減リマス」ト呼フ者アリ）モウ少シ御話シナイト分リマセウカ、少シ御辛抱ヲ願ヒマス、デ、我國ノ輸入ノちいさきト云フモノハ、悉ク暹羅カラ參ルサウデアリマス、其他唐木類、各種ノ革類、其他熱帶地ノ天產物ト云フモノハ、大概彼國ニ於テ產出スルノデアリマス、又日本ヨリシテ彼地ニ輸出スル重ナルモノハ織物、陶器、漆器、西洋模造雜貨、家具、裝飾品、石炭、燐寸是等ヲ始メト致シマシテ、總テ熱帶地ニ於テ需用ヲ爲スモノハ日本國カラ販賣スルコトガ出來ル、就中家具、裝飾品ノ如キハ、日本ヨリノ輸入ガ頗ル適當デアリマシテ、是等ノ物品ニシテモ二十七年年度ノ輸入金一千九百餘萬ノ内デ、五百萬圓以上占メタサウデアリマス、斯様ナ貿易上ノ關係デゴザリマスカラシテ、速ニ領事館ヲ置イテ此貿易上ノ保護ヲ務ムルト云フコトガ必要デアラウト思ヒマス、第三ニ此移民ノ關係ニ就イテ申シマスルト、暹羅國ノ幅員ハ幾ド我日本ト等シキ程ノモノデアリマシテ、地味ガ最も豐饒デアアル、サウシテ天與ノ產物ガ到處ニ充滿シテ居ルノデゴザリマス、而シテ人口ガ僅カニ二十萬人ニ上ボラヌ、生活ノ度ハ頗ル低ク、米ヲ食ッテ居ルノデゴザリマス、勞働者ハ一箇月三圓以上四圓位デ一箇月ノ暮シガ出來ルノデアリマス、ツレデ彼國ニ移住ヲ致シマスルニ付キマシテハ、農業ハ第一眼目ノモノデアアル、併ナガラ農業ニ從事セシムルニ就キマシテハ、隨分費用モ澤山イルノデアリマスカラシテ、先ヅ鐵道ノ工夫、造船場ノ人夫、鑛山ノ人夫是等ノ者ニ日本人民ヲ送ッテ、

サウシテ從事サセル方ガ宜シイノデゴザイマシテ、其賃金ハ一日五六十錢、大工、鍛冶ノ如キハ一圓以上一圓四五十錢程ニ至ル程ノ賃金ヲ得ラルルサウデアリマス、既ニ廣島ニ海外渡航會社ト云フモノガアリマシテ、此會社ヨリシテ人ヲ、出張店ヲ彼ノ暹羅國ノ般谷府ニ設ケマシテ、既ニ二十名程勞働者ヲ送りマシテ、頗ル好結果ヲ得テ居ルサウデアリマス、其他神戸大阪邊ノ有力者ガ通商ヲ開キ、航路ヲ通ズルノ計畫ガゴザリマスケレドモ、未ダ領事館ノ設ガナク、又通商條約ノ締結ガナイト云フタメニ、甚ダ不安心ノタメニ逡巡シテ居ルノ有様デアリマス、是即チ移民ノ關係ノ上ニ就キマシテ領事館設置ノ必要ナル所以デアリマス、デ、既ニ斯ノ如キ必要ガアリ、サウシテ領事館設置ニ就イテ要スル所ノ經費ヲ申シマスルト、彼地ハ最モ物價ノ安イ所デゴザイマシテ、僅ニ一箇月百圓以内位デ經費ダケハ支辨サル、サウデアリマス、斯様ナ必要ガアツテ、其經費ノ上ニ就キマシテモ甚ダ簡便デゴザリマスカラシテ、當局者モ必ズ是ニ就イテハ十分ニ考ヘラレテ其領事館設置、通商條約ヲ締結スルノ運ニ至ランコトヲ力メツ、アルデアリマセウガ、則チ本案ヲ提出シテ速ニ當局者ノ實行ヲ促サント欲スル所以デゴザイマス、願クハ全會一致ノ御賛成ヲ得マシテ、最モ急ヲ要スル議案デゴザイマスルカラシテ即決確定ヲ飽クマデモ請フノデゴザイマス

○堀越寛介君(百六十四番) 質問デハゴザイマセヌガ、唯今提出者カラ即決ニ願ヒタイト云フコトデゴザイマスルガ、私ハ委員ニ付シタイト云フ考デゴザイマス、ワレハ斯ウ云フ少數ノ場合ニ決議ヲスルト云フコトモ甚ダ好マナイ話デゴザイマス、殊ニ又政府ニ向テモ質問シタイト云フ考デゴザイマスルカラ、九名ノ委員ヲ選ンデサウシテ審議ヲ致シタ後ニ致シタイト云フノデアリマス

〔贊成々々〕ノ聲起ル

○吉本榮吉君(八十二番) 此案ニ就イテハ提出者ハ熱心ナル最モ詳細ナル長演說ヲセラレマシテ、可否ニ至リマシテハ諸君モ既ニ定ツテアルデアラウト思ヒマス、恐ラク堀越君ノ外ハ定ラナイ人ハナカラウ、故ニ直ニ決セラレシコトヲ最モ望ミマス

○議長(楠本正隆君) 堀越寛介君ノ九名ノ委員ニ付託シタイト云フコトニ贊成ガアリマス、此委員付託ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(楠本正隆君) 少數、然ラバ本案ニ就イテ決議ヲ要シマス、建議案ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數、即チ該案ノ確定ヲ報シマス、明後日ノ日程ヲ報

ジマス

〔佐脇書記官朗讀〕

議事日程 第二十九號 明治二十九年三月二日(月曜日)

午後一時開議

- | | |
|--|--------------|
| 第一 害蟲驅除豫防法案(政府提出) | 第一讀會ノ續(特別委員) |
| 第二 船舶検査法案(政府提出貴族院送付) | 第一讀會 |
| 第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第四 船舶職員法案(政府提出貴族院送付) | 第一讀會 |
| 第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第六 船舶職員懲戒法案(政府提出貴族院送付) | 第一讀會 |
| 第七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第八 銀行合併法案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第十 開港外ニ於テ外國貿易ノ爲メ船舶出入及貨物輸出入ノ件ニ關スル法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第十二 福井縣越前國敦賀港外七港ニ於テ東洋貿易ニ關スル船舶ノ出入許可法律案(小畑岩次郎君外八名提出) | 第一讀會 |
| 第十三 開港法案(須藤時一郎君外五名提出) | 第一讀會 |
- 議長(楠本正隆君) 是ニテ散會ヲ報シマス
- 午後三時十九分散會

衆議院議事速記第二十七號正誤

頁 段 行 誤 正
三九〇 上 二三 君塚 尹塚

